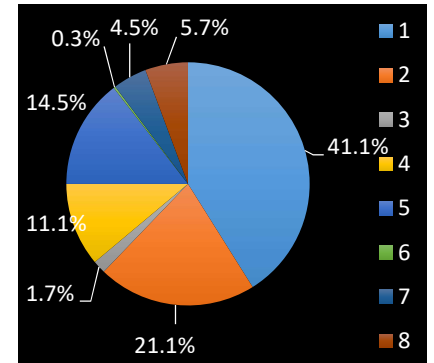


北海道

2020年度 **56PJ** 対前年度比 99.1%

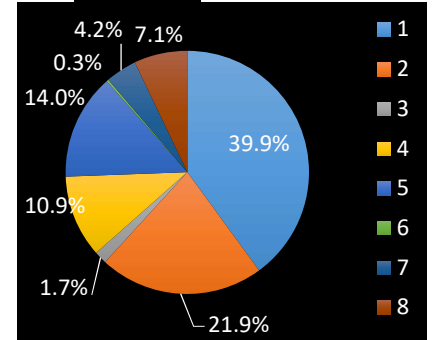


再生可能エネルギー供給状況

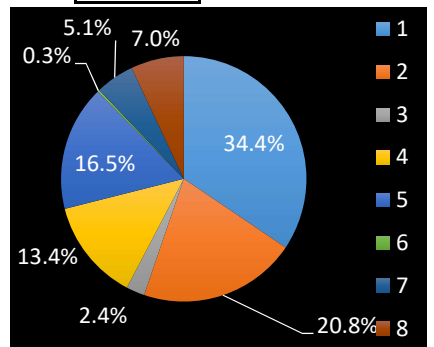
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 **57PJ** 対前年度比 122.9%



2018年度 **46PJ**



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	23PJ	13	37	45	41.1%
◎ 2 風力発電	12PJ	3	13	24	21.1%
3 地熱発電	1PJ	5	6	7	1.7%
○ 4 小水力発電	6PJ	7	27	40	11.1%
○ 5 バイオマス発電	8PJ	3	17	45	14.5%
6 太陽熱利用	0PJ	40	47	47	0.3%
7 地熱利用	3PJ	2	11	28	4.5%
8.バイオマス熱利用	3PJ	2	24	42	5.7%
合計(供給量)	56PJ	2			
再生可能エネルギー自給率			14.6%	再エネ自給率ランク 35	
食料自給率			205.0%	食料自給率ランク 1	
供給密度(TJ/km ²)			0.718	供給密度ランク 47	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				386PJ	
区域面積				78,358km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	苫前郡苫前町	288.3%	1	江別市	9.4	☆1	河西郡更別村	6525.8%
☆2	檜山郡上ノ国町	276.2%	2	勇払郡安平町	7.0	☆2	斜里郡小清水町	6063.8%
☆3	勇払郡安平町	264.8%	3	室蘭市	6.2	☆3	斜里郡清里町	5184.7%
☆4	久遠郡せたな町	258.2%	4	苫小牧市	5.3	☆4	網走郡大空町	4311.9%
☆5	有珠郡壮瞥町	245.6%	5	釧路郡釧路町	5.0	☆5	河東郡士幌町	4073.6%
☆6	松前郡松前町	219.4%	6	稚内市	4.2	☆6	中川郡豊頃町	3463.8%
☆7	磯谷郡蘭越町	193.9%	7	小樽市	4.2	☆7	河西郡中札内村	3219.1%
☆8	虻田郡二七〇町	151.6%	8	天塩郡幌延町	4.2	☆8	十勝郡浦幌町	3107.4%
☆9	白糠郡白糠町	144.7%	9	檜山郡江差町	4.1	☆9	河東郡鹿追町	2556.5%
☆10	寿都郡寿都町	144.5%	10	虻田郡二七〇町	4.0	☆10	石狩郡新篠津村	2514.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

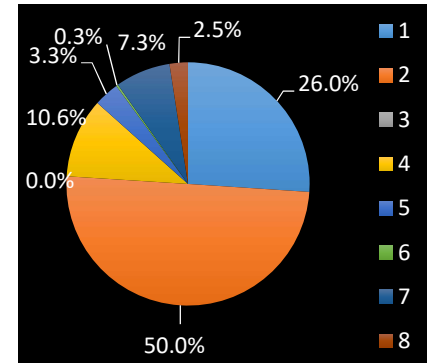
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

青森県

2020年度 29PJ 対前年度比 109.9%

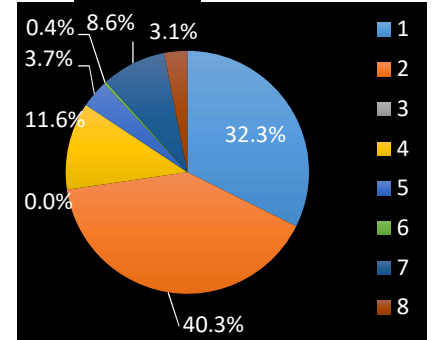


再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

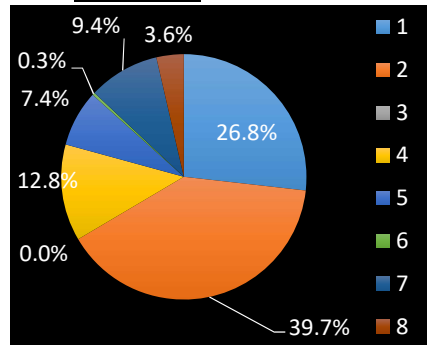
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 27PJ 対前年度比 109.5%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	34	34	40	26.0%
◎ 2 風力発電	15PJ	1	2	1	50.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	17	20	25	10.6%
5 バイオマス発電	1PJ	37	40	46	3.3%
6 太陽熱利用	0PJ	45	46	44	0.3%
7 地熱利用	2PJ	3	2	2	7.3%
8.バイオマス熱利用	1PJ	33	26	34	2.5%
合計(供給量)	29PJ	20			
再生可能エネルギー自給率			30.8%	再エネ自給率ランク 17	
食料自給率			117.7%	食料自給率ランク 4	
供給密度(TJ/km ²)			3.020	供給密度ランク 30	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				95PJ	
区域面積				9,646km ²	

2018年度 24PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下北郡東通村	565.3%	1	つがる市	16.3	☆1	東津軽郡蓬田村	662.8%
☆2	上北郡六ヶ所村	367.7%	2	三沢市	4.8	☆2	つがる市	639.1%
☆3	上北郡横浜町	284.6%	3	八戸市	4.2	☆3	北津軽郡中泊町	535.9%
☆4	三戸郡新郷村	242.8%	4	五所川原市	3.5	☆4	北津軽郡鶴田町	369.2%
☆5	西津軽郡深浦町	221.9%	5	西津軽郡深浦町	3.1	☆5	東津軽郡平内町	361.8%
☆6	つがる市	194.3%	6	平川市	3.0	☆6	北津軽郡板柳町	341.4%
☆7	上北郡野辺地町	149.2%	7	南津軽郡田舎館村	2.9	☆7	三戸郡新郷村	306.3%
☆8	下北郡大間町	136.4%	8	青森市	2.6	☆8	南津軽郡田舎館村	296.4%
☆9	上北郡七戸町	113.3%	9	南津軽郡藤崎町	2.1	☆9	上北郡七戸町	282.6%
10	上北郡六戸町	88.5%	10	十和田市	1.7	☆10	西津軽郡鰺ヶ沢町	266.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

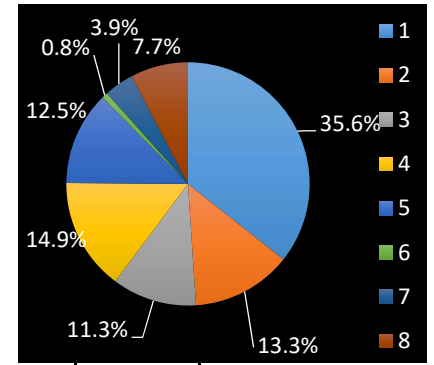
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岩手県

2020年度 25PJ 対前年度比 101.0%

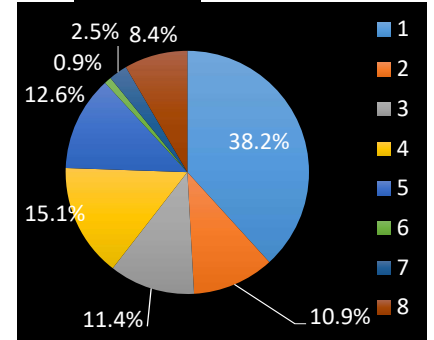


再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

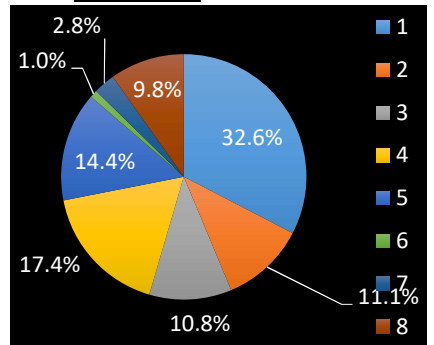
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 25PJ 対前年度比 115.5%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率 率ランク	供給密度ラン ク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9PJ	32	28	41	35.6%
○ 2 風力発電	3PJ	8	7	21	13.3%
○ 3 地熱発電	3PJ	3	3	4	11.3%
○ 4 小水力発電	4PJ	12	13	30	14.9%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	14	6	32	12.5%
6 太陽熱利用	0PJ	38	35	43	0.8%
7 地熱利用	1PJ	9	5	18	3.9%
8.バイオマス熱利用	2PJ	7	3	27	7.7%
合計(供給量)	25PJ	26			
再生可能エネルギー自給率			30.8%	再エネ自給率 ランク	16
食料自給率			98.8%	食料自給率ラ ンク	6
供給密度(TJ/km ²)			1.634	供給密度ラン ク	43
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				81PJ	
区域面積				15,275km ²	

2018年度 21PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	九戸郡野田村	409.3%	1	九戸郡野田村	10.5	☆1	胆沢郡金ヶ崎町	305.0%
☆2	岩手郡葛巻町	272.6%	2	紫波郡矢巾町	6.2	☆2	岩手郡雫石町	283.9%
☆3	二戸郡一戸町	206.4%	3	二戸郡一戸町	5.2	☆3	和賀郡西和賀町	271.5%
☆4	岩手郡雫石町	179.8%	4	岩手郡雫石町	4.5	☆4	下閉伊郡普代村	233.0%
☆5	九戸郡軽米町	171.4%	5	九戸郡軽米町	3.9	☆5	八幡平市	231.4%
☆6	八幡平市	128.7%	6	胆沢郡金ヶ崎町	2.7	☆6	岩手郡葛巻町	190.5%
7	下閉伊郡岩泉町	92.4%	7	北上市	2.5	☆7	紫波郡紫波町	185.3%
8	上閉伊郡大槌町	83.4%	8	岩手郡葛巻町	2.4	☆8	奥州市	184.8%
9	九戸郡洋野町	75.6%	9	八幡平市	2.3	☆9	西磐井郡平泉町	175.5%
10	遠野市	65.9%	10	上閉伊郡大槌町	2.3	☆10	花巻市	168.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮城県

再生可能エネルギー供給状況

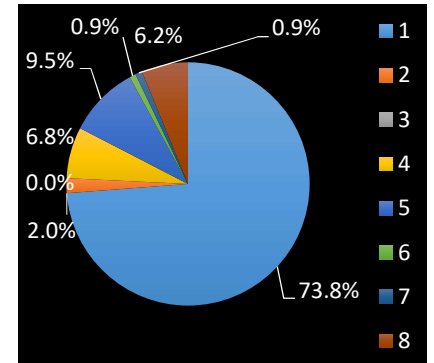
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

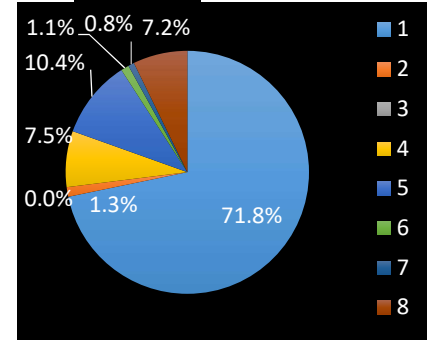
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	21PJ	15	19	18	73.8%
2 風力発電	1PJ	28	26	29	2.0%
3 地熱発電	0PJ	11	12	11	0.0%
4 小水力発電	2PJ	26	28	28	6.8%
5 バイオマス発電	3PJ	16	19	15	9.5%
6 太陽熱利用	0PJ	37	38	37	0.9%
7 地熱利用	0PJ	25	26	26	0.9%
8.バイオマス熱利用	2PJ	8	14	13	6.2%
合計(供給量)	28PJ	22			
再生可能エネルギー自給率			22.0%	再エネ自給率ランク	27
食料自給率			69.2%	食料自給率ランク	11
供給密度(TJ/km ²)			3.903	供給密度ランク	21
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				129PJ	
区域面積				7,282km ²	

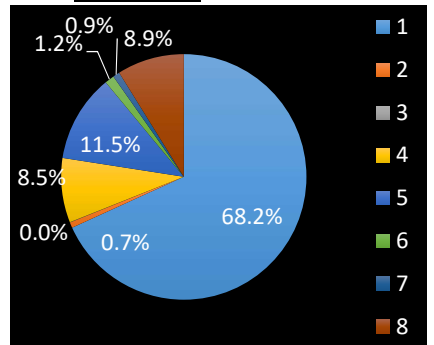
2020年度 28PJ 対前年度比 109.6%



2019年度 26PJ 対前年度比 114.2%



2018年度 23PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	刈田郡七ヶ宿町	407.2%	1	宮城郡松島町	12.9	☆1	加美郡色麻町	462.8%
☆2	黒川郡大郷町	175.7%	2	塩竈市	12.2	☆2	登米市	305.2%
☆3	伊具郡丸森町	163.4%	3	亶理郡亶理町	11.6	☆3	遠田郡美里町	304.7%
☆4	柴田郡川崎町	117.4%	4	岩沼市	10.0	☆4	栗原市	292.1%
☆5	刈田郡蔵王町	115.6%	5	多賀城市	9.4	☆5	牡鹿郡女川町	279.7%
☆6	宮城郡松島町	105.0%	6	石巻市	7.8	☆6	黒川郡大郷町	279.2%
7	黒川郡大和町	89.8%	7	黒川郡大郷町	7.4	☆7	加美郡加美町	276.9%
8	白石市	83.2%	8	仙台市	6.9	☆8	遠田郡涌谷町	266.6%
9	黒川郡大衡村	70.3%	9	名取市	6.3	☆9	刈田郡七ヶ宿町	207.9%
10	亶理郡亶理町	68.8%	10	黒川郡大和町	6.0	☆10	黒川郡大衡村	194.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

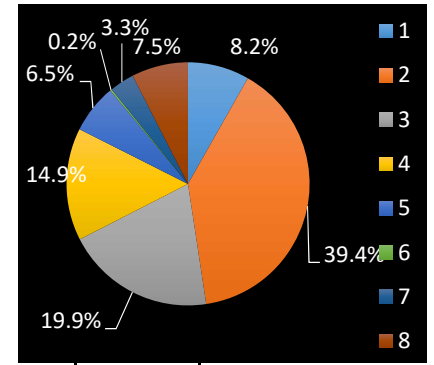
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

秋田県

2020年度 35PJ 対前年度比 106.1%

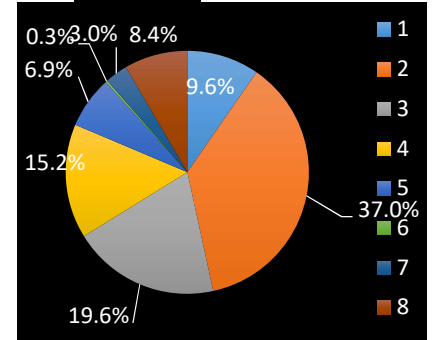


再生可能エネルギー供給状況

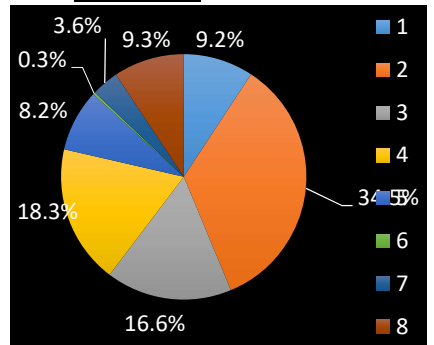
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 33PJ 対前年度比 120.4%



2018年度 27PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	3PJ	45	43	47	8.2%
◎ 2 風力発電	14PJ	2	1	2	39.4%
○ 3 地熱発電	7PJ	2	2	2	19.9%
○ 4 小水力発電	5PJ	9	4	16	14.9%
5 バイオマス発電	2PJ	18	8	34	6.5%
6 太陽熱利用	0PJ	46	43	46	0.2%
7 地熱利用	1PJ	6	3	9	3.3%
8.バイオマス熱利用	3PJ	4	1	15	7.5%
合計(供給量)	35PJ	15			
再生可能エネルギー自給率			51.3%	再エネ自給率ランク 1	
食料自給率			190.8%	食料自給率ランク 2	
供給密度(TJ/km ²)			2.979	供給密度ランク 32	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				67PJ	
区域面積				11,616km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	鹿角市	240.6%	1	潟上市	25.3	☆1	南秋田郡大潟村	6898.4%
☆2	にかほ市	216.5%	2	にかほ市	11.3	☆2	仙北郡美郷町	497.2%
☆3	潟上市	175.4%	3	男鹿市	8.5	☆3	山本郡三種町	464.5%
☆4	湯沢市	161.5%	4	鹿角市	6.6	☆4	南秋田郡井川町	413.5%
☆5	雄勝郡東成瀬村	147.8%	5	湯沢市	5.6	☆5	山本郡八峰町	369.8%
☆6	山本郡八峰町	145.5%	6	秋田市	5.3	☆6	大仙市	347.8%
☆7	山本郡三種町	144.3%	7	山本郡三種町	5.1	☆7	雄勝郡羽後町	339.3%
8	由利本荘市	94.6%	8	能代市	4.2	☆8	山本郡藤里町	285.8%
9	男鹿市	94.1%	9	由利本荘市	3.6	☆9	横手市	282.9%
10	仙北市	72.6%	10	山本郡八峰町	2.6	☆10	北秋田郡上小阿仁村	270.2%

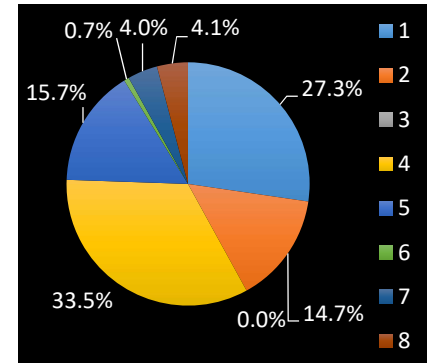
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山形県

2020年度 10PJ 対前年度比 99.5%

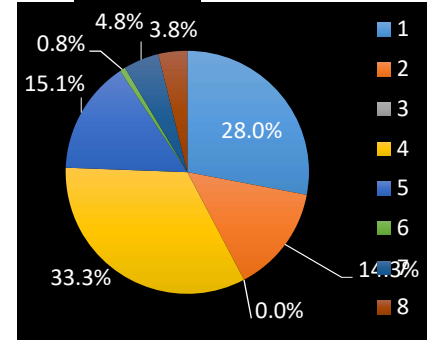


再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

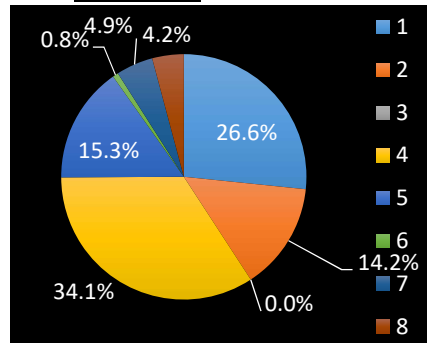
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 10PJ 対前年度比 102.4%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3PJ	46	40	44	27.3%
○ 2 風力発電	1PJ	18	17	22	14.7%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	14	12	22	33.5%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	28	11	38	15.7%
6 太陽熱利用	0PJ	47	45	45	0.7%
7 地熱利用	0PJ	17	10	24	4.0%
8.バイオマス熱利用	0PJ	38	30	41	4.1%
合計(供給量)	10PJ	43			
再生可能エネルギー自給率			16.7%	再エネ自給率ランク 33	
食料自給率			136.3%	食料自給率ランク 3	
供給密度(TJ/km ²)			1.086	供給密度ランク 46	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				61PJ	
区域面積				9,323km ²	

2018年度 10PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西村山郡西川町	215.8%	1	飽海郡遊佐町	4.8	☆1	最上郡鮭川村	587.1%
☆2	飽海郡遊佐町	158.3%	2	酒田市	3.3	☆2	東田川郡三川町	486.8%
☆3	西村山郡朝日町	123.5%	3	新庄市	2.4	☆3	東置賜郡川西町	468.9%
☆4	最上郡大蔵村	111.8%	4	山形市	2.0	☆4	東田川郡庄内町	466.5%
5	最上郡最上町	34.9%	5	西村山郡朝日町	1.7	☆5	西置賜郡飯豊町	435.8%
6	酒田市	33.2%	6	米沢市	1.6	☆6	最上郡戸沢村	412.0%
7	最上郡真室川町	28.9%	7	天童市	1.5	☆7	最上郡金山町	404.3%
8	最上郡金山町	28.3%	8	西村山郡西川町	1.5	☆8	尾花沢市	385.7%
9	東置賜郡川西町	28.0%	9	東置賜郡川西町	1.3	☆9	最上郡大蔵村	358.8%
10	新庄市	25.0%	10	鶴岡市	1.3	☆10	最上郡舟形町	348.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

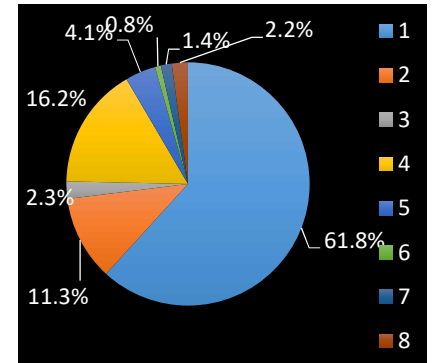
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福島県

2020年度 **39PJ** 対前年度比 104.3%

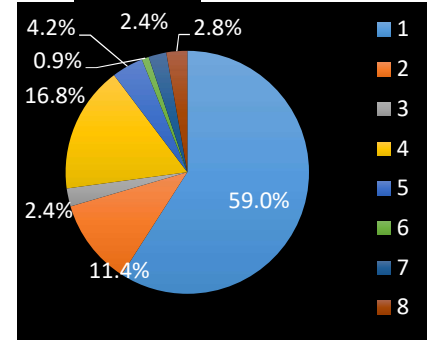


再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

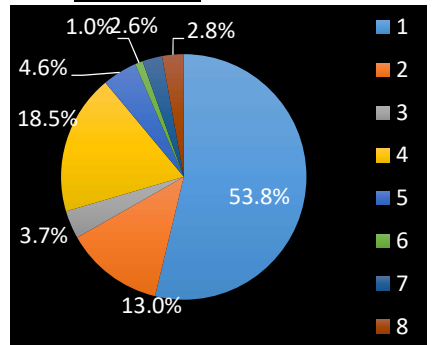
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 **37PJ** 対前年度比 110.1%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	24PJ	12	10	33	61.8%
○ 2 風力発電	4PJ	5	8	14	11.3%
○ 3 地熱発電	1PJ	6	5	5	2.3%
○ 4 小水力発電	6PJ	6	9	15	16.2%
5 バイオマス発電	2PJ	29	29	44	4.1%
6 太陽熱利用	0PJ	35	33	40	0.8%
7 地熱利用	1PJ	13	16	25	1.4%
8.バイオマス熱利用	1PJ	25	25	37	2.2%
合計(供給量)	39PJ	10			
再生可能エネルギー自給率			35.9%	再エネ自給率ランク 8	
食料自給率			74.0%	食料自給率ランク 8	
供給密度(TJ/km ²)			2.809	供給密度ランク 35	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				108PJ	
区域面積				13,784km ²	

2018年度 **34PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	河沼郡柳津町	503.9%	1	西白河郡矢吹町	12.3	☆1	河沼郡湯川村	640.2%
☆2	双葉郡川内村	503.2%	2	南相馬市	8.8	☆2	河沼郡会津坂下町	355.4%
☆3	南会津郡下郷町	320.4%	3	岩瀬郡鏡石町	7.5	☆3	耶麻郡猪苗代町	338.0%
☆4	双葉郡楢葉町	302.9%	4	白河市	7.4	☆4	大沼郡会津美里町	315.4%
☆5	田村郡小野町	176.4%	5	石川郡石川町	7.0	☆5	岩瀬郡天栄村	283.4%
☆6	田村市	148.4%	6	田村郡小野町	6.5	☆6	大沼郡昭和村	253.7%
☆7	石川郡石川町	107.5%	7	郡山市	5.6	☆7	喜多方市	250.1%
☆8	南相馬市	107.2%	8	石川郡浅川町	5.2	☆8	耶麻郡磐梯町	249.8%
9	西白河郡矢吹町	83.0%	9	田村市	5.1	☆9	西白河郡泉崎村	230.0%
10	石川郡浅川町	80.9%	10	双葉郡楢葉町	5.1	☆10	西白河郡中島村	216.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

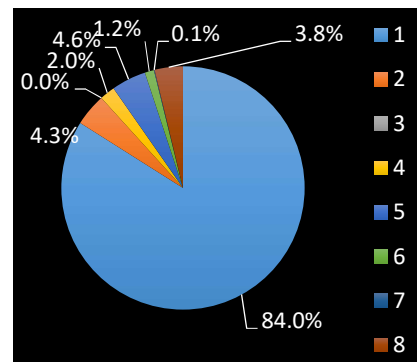
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 2011年3月の東京電力福島第一原発事故による避難指示区域となり、避難のために世帯数が事故前の3分の1以下になっている7つの町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、楢葉町)は、エネルギー自給率・食料自給率推計の対象外としています。なお、これらの町村の再生可能エネルギー供給量推計は実施し、県全体の供給量に加えるとともに、供給密度推計を行っています。

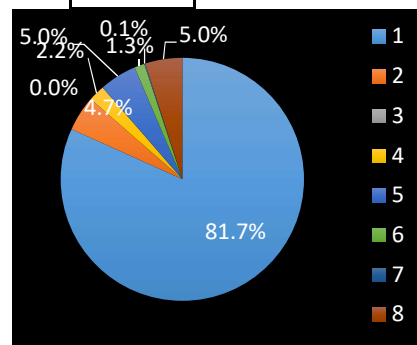
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

茨城県

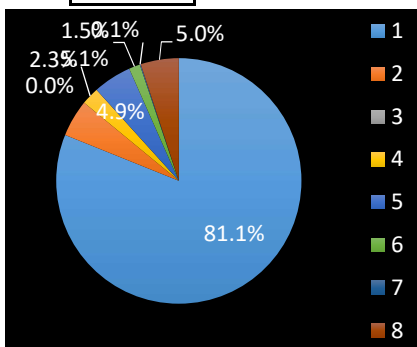
2020年度 56PJ 対前年度比 108.2%



2019年度 52PJ 対前年度比 105.0%



2018年度 50PJ



再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	47PJ	1	6	1	84.0%
2 風力発電	2PJ	12	20	10	4.3%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	33	35	35	2.0%
5 バイオマス発電	3PJ	17	26	13	4.6%
6 太陽熱利用	1PJ	22	30	20	1.2%
7 地熱利用	0PJ	35	38	38	0.1%
8.バイオマス熱利用	2PJ	5	15	8	3.8%
合計(供給量)	56PJ	1			
再生可能エネルギー自給率			33.4%	再エネ自給率ランク	12
食料自給率			67.0%	食料自給率ランク	12
供給密度(TJ/km ²)			9.265	供給密度ランク	4
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				169PJ	
区域面積				6,097km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	行方市	116.6%	1	神栖市	36.5	☆1	稲敷郡河内町	466.0%
☆2	北茨城市	100.5%	2	牛久市	18.7	☆2	鉾田市	369.7%
3	稲敷市	99.7%	3	鹿嶋市	16.4	☆3	行方市	334.9%
4	神栖市	91.3%	4	水戸市	15.3	☆4	稲敷市	284.6%
5	桜川市	84.2%	5	稲敷郡阿見町	13.4	☆5	結城郡八千代町	226.5%
6	高萩市	80.0%	6	土浦市	13.4	☆6	北茨城市	179.4%
7	鉾田市	71.7%	7	ひたちなか市	13.3	☆7	東茨城郡茨城町	160.5%
8	常陸大宮市	69.3%	8	稲敷郡美浦村	13.0	☆8	神栖市	138.7%
9	東茨城郡城里町	64.1%	9	龍ヶ崎市	12.4	☆9	猿島郡五霞町	126.6%
10	久慈郡大子町	62.5%	10	潮来市	12.3	☆10	筑西市	125.3%

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

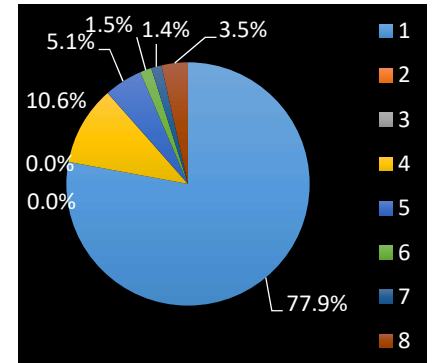
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

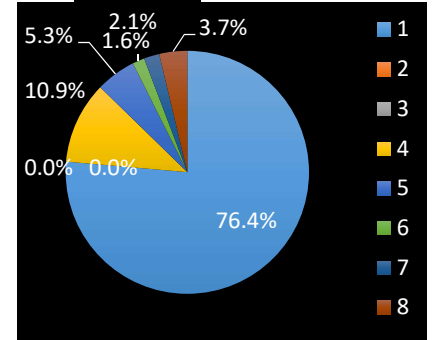
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

栃木県

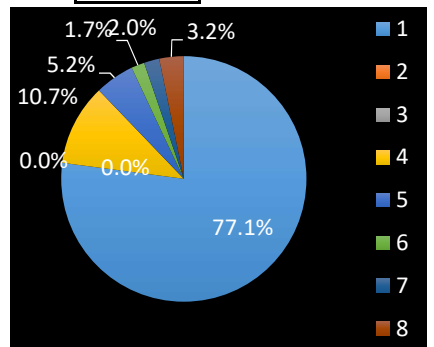
2020年度 36PJ 対前年度比 105.2%



2019年度 34PJ 対前年度比 98.7%



2018年度 35PJ



再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	28PJ	9	7	10	77.9%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	4PJ	11	17	12	10.6%
5 バイオマス発電	2PJ	25	23	23	5.1%
6 太陽熱利用	1PJ	26	26	29	1.5%
7 地熱利用	1PJ	14	19	14	1.4%
8.バイオマス熱利用	1PJ	15	18	17	3.5%
合計(供給量)	36PJ	14			
再生可能エネルギー自給率			34.1%	再エネ自給率ランク	10
食料自給率			66.7%	食料自給率ランク	13
供給密度(TJ/km ²)			5.635	供給密度ランク	14
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				106PJ	
区域面積				6,408km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	塩谷郡塩谷町	176.7%	1	下都賀郡壬生町	13.4	☆1	芳賀郡芳賀町	298.7%
☆2	那須郡那珂川町	138.1%	2	足利市	10.8	☆2	塩谷郡塩谷町	274.7%
☆3	那須烏山市	135.6%	3	宇都宮市	9.2	☆3	那須郡那須町	210.6%
4	日光市	88.5%	4	下都賀郡野木町	9.1	☆4	大田原市	197.5%
5	那須郡那須町	78.8%	5	那須烏山市	9.1	☆5	塩谷郡高根沢町	176.3%
6	矢板市	69.4%	6	佐野市	8.5	☆6	芳賀郡市貝町	162.2%
7	芳賀郡益子町	63.7%	7	下野市	8.4	☆7	那須郡那珂川町	152.4%
8	那須塩原市	62.5%	8	小山市	8.4	☆8	さくら市	150.3%
9	芳賀郡市貝町	53.4%	9	栃木市	7.3	☆9	芳賀郡茂木町	120.9%
10	佐野市	49.9%	10	河内郡上三川町	7.1	☆10	那須塩原市	119.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

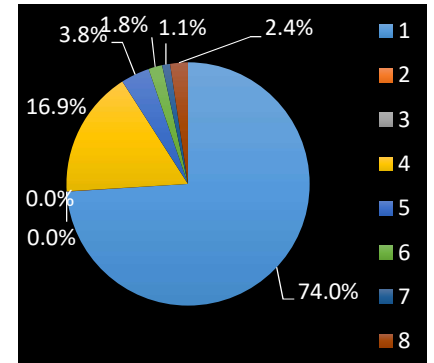
群馬県

再生可能エネルギー供給状況

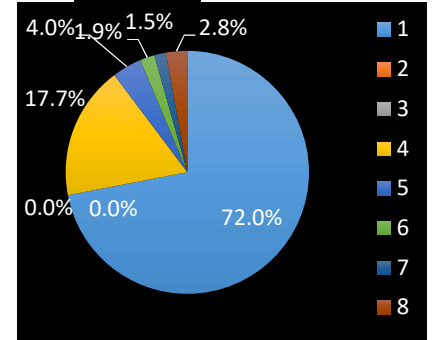
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

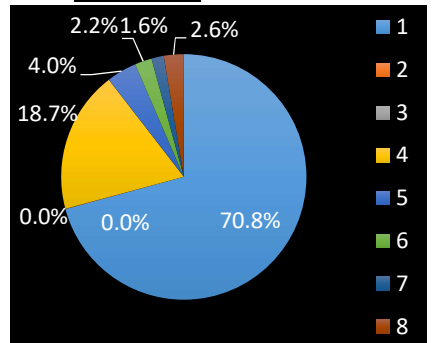
2020年度 41PJ 対前年度比 104.9%



2019年度 39PJ 対前年度比 105.6%



2018年度 37PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	30PJ	7	2	9	74.0%
2 風力発電	0PJ	37	37	37	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	7PJ	4	7	3	16.9%
5 バイオマス発電	2PJ	30	28	28	3.8%
6 太陽熱利用	1PJ	21	17	18	1.8%
7 地熱利用	0PJ	15	20	16	1.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	22	21	26	2.4%
合計(供給量)	41PJ	8			
再生可能エネルギー自給率			39.5%	再エネ自給率ランク 5	
食料自給率			28.9%	食料自給率ランク 31	
供給密度(TJ/km ²)			6.404	供給密度ランク 11	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				103PJ	
区域面積				6,362km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	利根郡片品村	546.3%	1	邑楽郡大泉町	21.5	☆1	利根郡昭和村	369.0%
☆2	吾妻郡高山村	329.3%	2	伊勢崎市	21.5	☆2	吾妻郡嬭恋村	291.5%
☆3	吾妻郡嬭恋村	239.2%	3	前橋市	20.7	☆3	邑楽郡板倉町	228.3%
☆4	多野郡神流町	224.8%	4	太田市	19.8	☆4	吾妻郡長野原町	185.3%
☆5	利根郡昭和村	189.1%	5	邑楽郡千代田町	15.6	☆5	利根郡川場村	138.0%
☆6	吾妻郡中之条町	160.5%	6	邑楽郡邑楽町	15.0	6	邑楽郡千代田町	96.7%
☆7	吾妻郡長野原町	143.5%	7	佐波郡玉村町	11.8	7	吾妻郡高山村	95.8%
☆8	吾妻郡東吾妻町	136.4%	8	館林市	11.7	8	吾妻郡東吾妻町	87.7%
☆9	利根郡みなかみ町	126.8%	9	利根郡昭和村	11.2	9	邑楽郡明和町	74.9%
10	安中市	89.0%	10	北群馬郡吉岡町	10.3	10	利根郡片品村	74.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

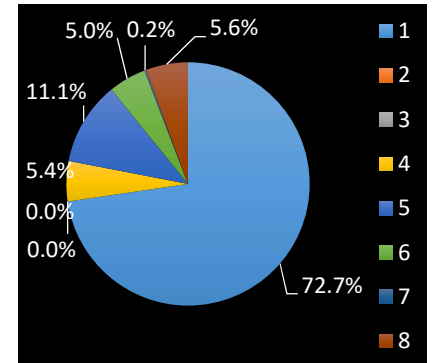
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

埼玉県

2020年度 29PJ 対前年度比 106.9%

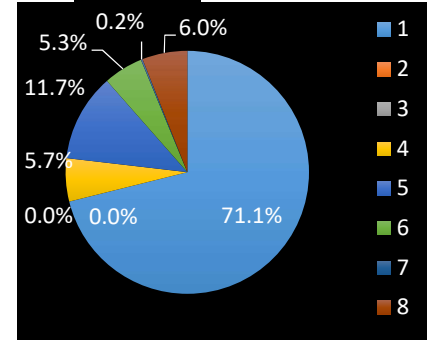


再生可能エネルギー供給状況

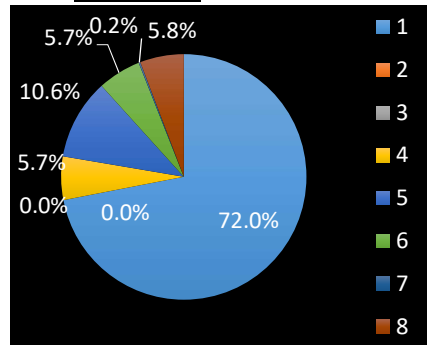
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 27PJ 対前年度比 99.7%



2018年度 27PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	21PJ	14	36	6	72.7%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	2PJ	28	40	18	5.4%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	13	42	5	11.1%
6 太陽熱利用	1PJ	4	28	5	5.0%
7 地熱利用	0PJ	34	41	32	0.2%
8.バイオマス熱利用	2PJ	10	35	5	5.6%
合計(供給量)	29PJ	19			
再生可能エネルギー自給率			8.5%	再エネ自給率ランク 42	
食料自給率			9.5%	食料自給率ランク 44	
供給密度(TJ/km ²)			7.710	供給密度ランク 7	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				345PJ	
区域面積				3,798km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	秩父市	70.7%	1	ふじみ野市	21.1	☆1	比企郡川島町	100.3%
2	児玉郡美里町	67.6%	2	戸田市	18.4	2	児玉郡美里町	87.0%
3	児玉郡神川町	55.7%	3	川口市	17.3	3	比企郡吉見町	83.5%
4	比企郡吉見町	54.6%	4	所沢市	15.4	4	加須市	75.0%
5	比企郡鳩山町	39.0%	5	大里郡寄居町	15.4	5	羽生市	52.3%
6	比企郡川島町	33.4%	6	熊谷市	14.6	6	行田市	49.7%
7	比企郡滑川町	29.1%	7	さいたま市	14.2	7	児玉郡上里町	46.3%
8	羽生市	29.1%	8	羽生市	13.9	8	児玉郡神川町	42.8%
9	本庄市	28.2%	9	三郷市	13.4	9	北葛飾郡杉戸町	39.8%
10	比企郡嵐山町	22.2%	10	本庄市	13.1	10	幸手市	38.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

千葉県

再生可能エネルギー供給状況

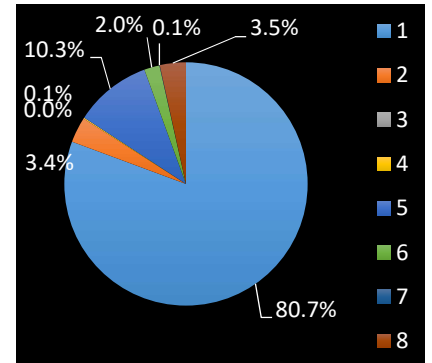
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

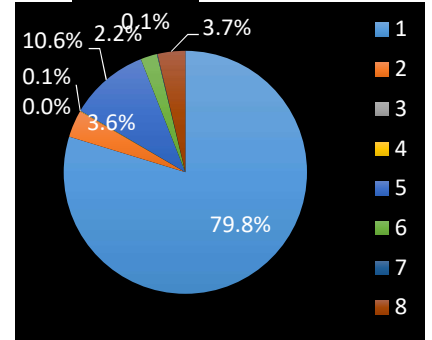
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	34PJ	4	30	4	80.7%
2 風力発電	1PJ	19	25	16	3.4%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	45	45	46	0.1%
○ 5 バイオマス発電	4PJ	9	32	6	10.3%
6 太陽熱利用	1PJ	13	34	12	2.0%
7 地熱利用	0PJ	40	45	40	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	12	36	9	3.5%
合計(供給量)	42PJ	7			
再生可能エネルギー自給率			13.1%	再エネ自給率ランク	39
食料自給率			23.3%	食料自給率ランク	33
供給密度(TJ/km ²)			8.175	供給密度ランク	6
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				322PJ	
区域面積				5,157km ²	

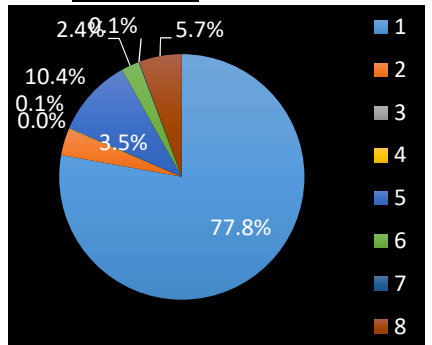
2020年度 42PJ 対前年度比 105.1%



2019年度 40PJ 対前年度比 98.7%



2018年度 41PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	長生郡長南町	111.9%	1	香取郡神崎町	18.2	☆1	香取郡多古町	249.9%
☆2	勝浦市	100.7%	2	銚子市	17.4	☆2	香取市	233.2%
3	長生郡長柄町	65.7%	3	流山市	17.2	☆3	香取郡東庄町	216.5%
4	長生郡睦沢町	65.0%	4	八街市	16.8	☆4	山武郡芝山町	206.7%
5	富津市	62.1%	5	袖ヶ浦市	16.5	☆5	匝瑳市	198.4%
6	香取郡多古町	54.3%	6	市川市	15.7	☆6	山武郡横芝光町	187.3%
7	山武郡芝山町	53.9%	7	習志野市	15.3	☆7	長生郡長南町	176.7%
8	長生郡長生村	51.3%	8	印旛郡酒々井町	15.3	☆8	香取郡神崎町	172.6%
9	夷隅郡大多喜町	50.8%	9	旭市	14.9	☆9	旭市	168.1%
10	山武市	49.7%	10	市原市	14.2	☆10	長生郡白子町	134.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

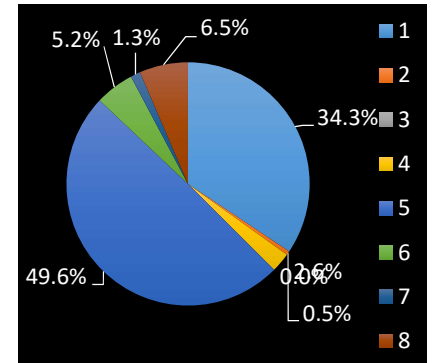
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

東京都

2020年度 20PJ 対前年度比 101.7%



再生可能エネルギー供給状況

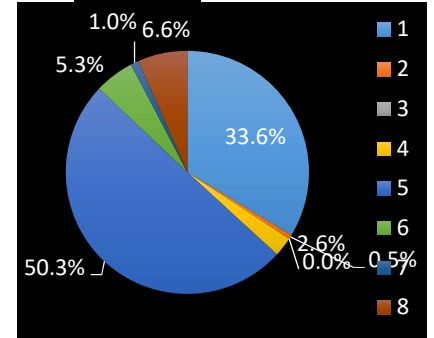
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

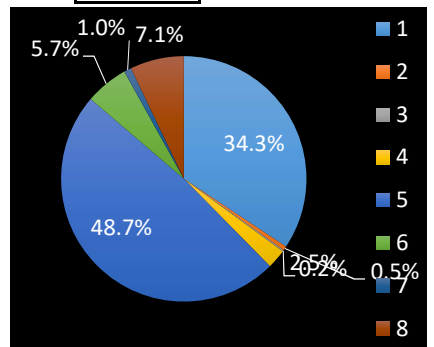
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7PJ	35	47	16	34.3%
2 風力発電	0PJ	32	36	30	0.5%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	40	44	31	2.6%
◎ 5 バイオマス発電	10PJ	2	38	1	49.6%
6 太陽熱利用	1PJ	9	44	3	5.2%
7 地熱利用	0PJ	23	39	8	1.3%
8.バイオマス熱利用	1PJ	13	44	2	6.5%
合計(供給量)	20PJ	28			
再生可能エネルギー自給率			2.1%	再エネ自給率ランク 47	
食料自給率			0.6%	食料自給率ランク 47	
供給密度(TJ/km ²)			9.158	供給密度ランク 5	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				941PJ	
区域面積				2,181km ²	

2019年度 20PJ 対前年度比 97.6%



2018年度 20PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	西多摩郡奥多摩町	63.4%	1	中央区	61.7	☆1	青ヶ島村	887.4%
2	稲城市	14.0%	2	江東区	36.9	2	八丈町	38.9%
3	神津島村	13.7%	3	目黒区	35.1	3	神津島村	31.8%
4	新島村	9.2%	4	港区	33.4	4	利島村	17.3%
5	東久留米市	8.7%	5	豊島区	30.5	5	小笠原村	14.8%
6	八丈町	7.9%	6	墨田区	30.3	6	あきる野市	14.3%
7	羽村市	5.9%	7	東久留米市	30.1	7	三宅村	11.0%
8	御蔵島村	5.5%	8	稲城市	29.7	8	新島村	9.2%
9	あきる野市	5.5%	9	品川区	29.4	9	御蔵島村	8.5%
10	三宅村	5.3%	10	杉並区	28.9	10	西多摩郡瑞穂町	2.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

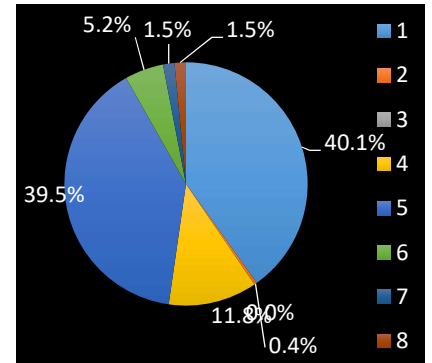
神奈川県

再生可能エネルギー供給状況

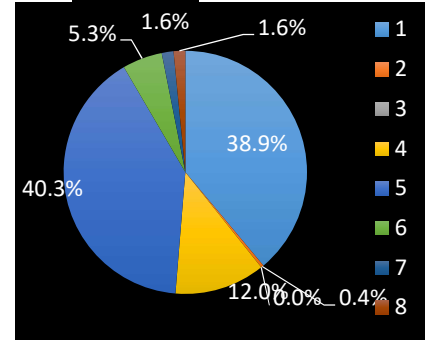
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

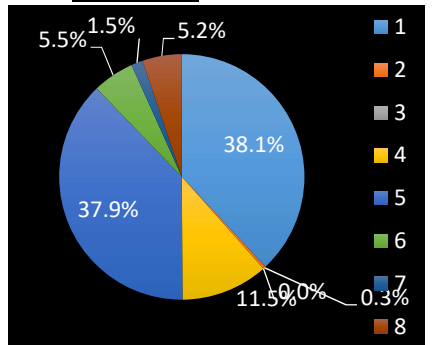
2020年度 25PJ 対前年度比 101.9%



2019年度 25PJ 対前年度比 95.7%



2018年度 26PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	29	46	11	40.1%
2 風力発電	0PJ	34	35	32	0.4%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	18	36	2	11.8%
◎ 5 バイオマス発電	10PJ	1	16	3	39.5%
6 太陽熱利用	1PJ	7	32	2	5.2%
7 地熱利用	0PJ	18	29	6	1.5%
8.バイオマス熱利用	0PJ	39	45	22	1.5%
合計(供給量)	25PJ	25			
再生可能エネルギー自給率			5.5%	再エネ自給率ランク	45
食料自給率			1.9%	食料自給率ランク	45
供給密度(TJ/km ²)			10.426	供給密度ランク	2
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				455PJ	
区域面積				2,416km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	足柄上郡山北町	260.6%	1	川崎市	47.1	1	三浦市	72.1%
2	足柄下郡箱根町	44.0%	2	海老名市	19.6	2	愛甲郡清川村	39.0%
3	足柄上郡中井町	26.7%	3	茅ヶ崎市	17.6	3	足柄上郡中井町	19.1%
4	南足柄市	26.7%	4	座間市	17.1	4	足柄下郡真鶴町	12.7%
5	足柄上郡大井町	22.4%	5	大和市	17.0	5	足柄上郡開成町	11.1%
6	足柄下郡湯河原町	10.1%	6	足柄上郡大井町	14.1	6	足柄上郡大井町	10.8%
7	川崎市	9.2%	7	平塚市	12.9	7	伊勢原市	9.4%
8	秦野市	9.1%	8	横浜市	12.1	8	南足柄市	7.4%
9	愛甲郡愛川町	8.3%	9	綾瀬市	11.4	9	小田原市	6.3%
10	海老名市	7.9%	10	藤沢市	11.2	10	足柄上郡山北町	6.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

新潟県

再生可能エネルギー供給状況

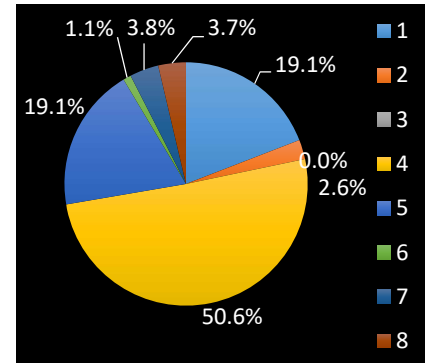
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

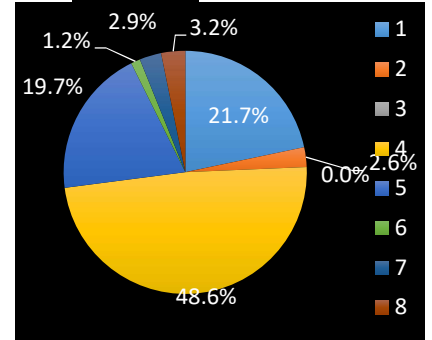
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○ 1 太陽光発電	3PJ	43	45	46	19.1%
2 風力発電	0PJ	29	28	31	2.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	9PJ	3	6	7	50.6%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	12	12	27	19.1%
6 太陽熱利用	0PJ	39	39	42	1.1%
7 地熱利用	1PJ	10	15	22	3.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	35	34	40	3.7%
合計(供給量)	18PJ	31			
再生可能エネルギー自給率			13.6%	再エネ自給率ランク 37	
食料自給率			104.7%	食料自給率ランク 5	
供給密度(TJ/km ²)			1.440	供給密度ランク 45	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				134PJ	
区域面積				12,584km ²	

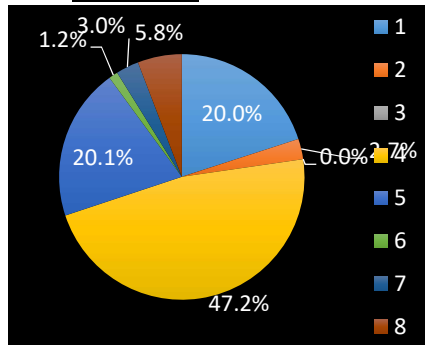
2020年度 18PJ 対前年度比 103.0%



2019年度 18PJ 対前年度比 103.8%



2018年度 17PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	糸魚川市	203.1%	1	糸魚川市	5.9	☆1	中魚沼郡津南町	357.4%
☆2	中魚沼郡津南町	105.3%	2	胎内市	4.2	☆2	岩船郡関川村	335.5%
3	東蒲原郡阿賀町	80.3%	3	新潟市	4.0	☆3	阿賀野市	248.2%
4	妙高市	79.9%	4	妙高市	3.3	☆4	西蒲原郡弥彦村	204.3%
5	胎内市	68.8%	5	中魚沼郡津南町	3.2	☆5	胎内市	204.1%
6	南魚沼郡湯沢町	55.9%	6	北蒲原郡聖籠町	2.5	☆6	佐渡市	199.2%
7	魚沼市	53.6%	7	五泉市	1.7	☆7	刈羽郡刈羽村	193.7%
8	五泉市	24.6%	8	南魚沼市	1.6	☆8	村上市	189.4%
9	南魚沼市	24.5%	9	阿賀野市	1.5	☆9	南魚沼市	173.5%
10	三島郡出雲崎町	20.8%	10	三条市	1.4	☆10	新発田市	164.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

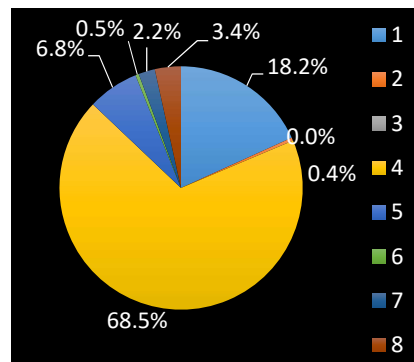
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

富山県

2020年度 19PJ 対前年度比 99.5%



再生可能エネルギー供給状況

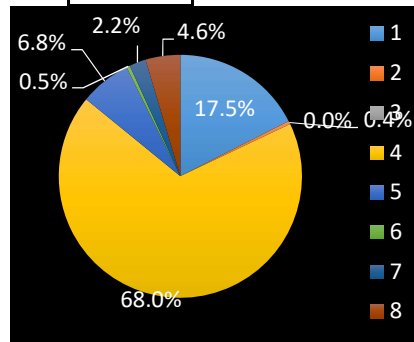
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

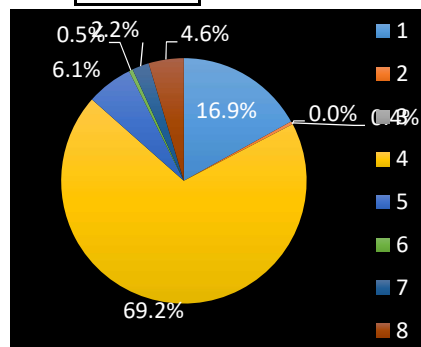
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○ 1 太陽光発電	3PJ	44	39	39	18.2%
2 風力発電	0PJ	35	33	34	0.4%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	13PJ	2	1	1	68.5%
5 バイオマス発電	1PJ	34	21	20	6.8%
6 太陽熱利用	0PJ	44	42	41	0.5%
7 地熱利用	0PJ	16	13	11	2.2%
8. バイオマス熱利用	1PJ	36	23	25	3.4%
合計(供給量)	19PJ	30			
再生可能エネルギー自給率			26.8%	再エネ自給率ランク 22	
食料自給率			71.6%	食料自給率ランク 9	
供給密度(TJ/km ²)			4.428	供給密度ランク 20	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				70PJ	
区域面積				4,248km ²	

2019年度 19PJ 対前年度比 101.9%



2018年度 19PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下新川郡朝日町	124.2%	1	滑川市	15.0	☆1	下新川郡入善町	266.6%
2	中新川郡立山町	94.0%	2	魚津市	9.8	☆2	南砺市	199.1%
3	魚津市	72.2%	3	富山市	6.6	☆3	下新川郡朝日町	183.2%
4	中新川郡上市町	66.6%	4	射水市	6.5	☆4	中新川郡立山町	158.9%
5	黒部市	62.6%	5	下新川郡入善町	6.5	☆5	小矢部市	152.0%
6	滑川市	47.4%	6	高岡市	6.1	☆6	砺波市	133.0%
7	下新川郡入善町	32.0%	7	下新川郡朝日町	4.1	7	中新川郡上市町	91.2%
8	富山市	26.5%	8	中新川郡立山町	3.9	8	黒部市	89.2%
9	小矢部市	16.9%	9	黒部市	3.6	9	中新川郡舟橋村	86.6%
10	射水市	13.2%	10	中新川郡上市町	2.8	10	滑川市	80.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

石川県

再生可能エネルギー供給状況

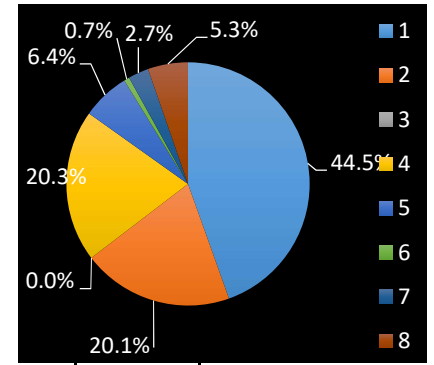
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

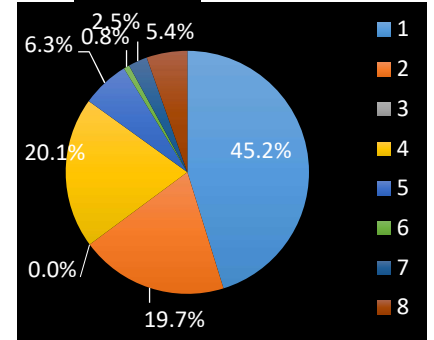
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6PJ	39	35	35	44.5%
◎ 2 風力発電	3PJ	10	11	4	20.1%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	20	18	10	20.3%
5 バイオマス発電	1PJ	39	37	33	6.4%
6 太陽熱利用	0PJ	43	41	39	0.7%
7 地熱利用	0PJ	19	18	12	2.7%
8.バイオマス熱利用	1PJ	34	22	20	5.3%
合計(供給量)	13PJ	38			
再生可能エネルギー自給率			17.5%	再エネ自給率ランク 31	
食料自給率			44.0%	食料自給率ランク 21	
供給密度(TJ/km ²)			3.144	供給密度ランク 29	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				75PJ	
区域面積				4,186km ²	

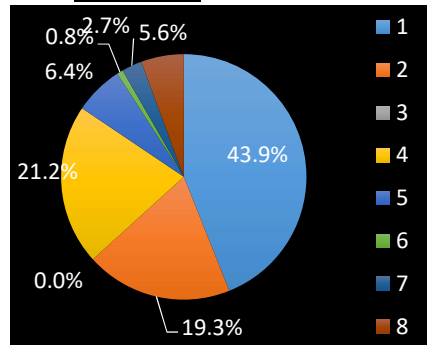
2020年度 13PJ 対前年度比 99.3%



2019年度 13PJ 対前年度比 105.3%



2018年度 13PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	羽咋郡宝達志水町	190.6%	1	羽咋郡宝達志水町	11.4	☆1	能美郡川北町	194.7%
☆2	珠洲市	126.9%	2	野々市市	7.3	☆2	羽咋郡志賀町	192.9%
☆3	羽咋郡志賀町	118.5%	3	羽咋郡志賀町	6.0	☆3	羽咋市	146.5%
4	鳳珠郡穴水町	43.7%	4	河北郡内灘町	5.5	☆4	羽咋郡宝達志水町	136.8%
5	白山市	37.8%	5	かほく市	5.0	☆5	鳳珠郡能登町	124.1%
6	七尾市	35.7%	6	能美郡川北町	5.0	☆6	珠洲市	123.2%
7	鹿島郡中能登町	31.3%	7	珠洲市	4.8	☆7	鹿島郡中能登町	115.1%
8	能美郡川北町	26.5%	8	七尾市	4.6	8	鳳珠郡穴水町	92.4%
9	羽咋市	25.5%	9	羽咋市	3.8	9	輪島市	89.3%
10	輪島市	25.3%	10	金沢市	3.5	10	七尾市	76.7%

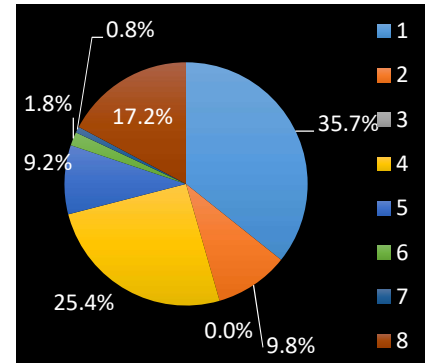
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福井県

2020年度 7PJ 対前年度比 100.9%

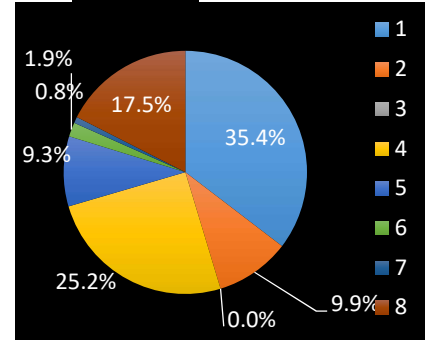


再生可能エネルギー供給状況

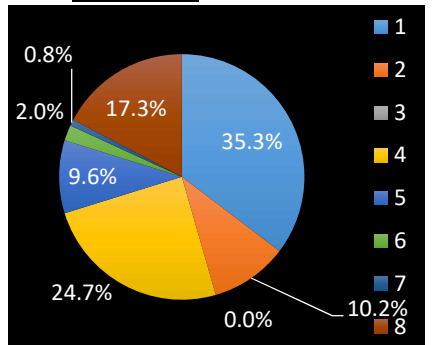
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 7PJ 対前年度比 102.7%



2018年度 7PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	2PJ	47	42	42	35.7%
2 風力発電	1PJ	25	21	23	9.8%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	2PJ	27	21	19	25.4%
5 バイオマス発電	1PJ	44	36	40	9.2%
6 太陽熱利用	0PJ	41	37	38	1.8%
7 地熱利用	0PJ	36	28	36	0.8%
○ 8. バイオマス熱利用	1PJ	18	6	10	17.2%
合計(供給量)	7PJ	46			
再生可能エネルギー自給率			12.4%	再エネ自給率ランク 41	
食料自給率			60.9%	食料自給率ランク 14	
供給密度(TJ/km ²)			1.615	供給密度ランク 44	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				55PJ	
区域面積				4,191km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	大野市	65.0%	1	あわら市	8.0	☆1	今立郡池田町	167.8%
2	あわら市	49.9%	2	坂井市	3.9	☆2	大野市	158.7%
3	今立郡池田町	29.3%	3	福井市	3.2	☆3	三方上中郡若狭町	144.5%
4	勝山市	27.7%	4	敦賀市	2.6	☆4	あわら市	131.5%
5	坂井市	16.5%	5	鯖江市	2.1	☆5	南条郡南越前町	122.7%
6	三方郡美浜町	16.4%	6	大野市	1.6	6	三方郡美浜町	99.6%
7	敦賀市	12.1%	7	勝山市	1.4	7	大飯郡おおい町	95.2%
8	南条郡南越前町	8.3%	8	越前市	0.9	8	坂井市	93.2%
9	福井市	7.9%	9	三方郡美浜町	0.7	9	勝山市	87.2%
10	丹生郡越前町	5.1%	10	吉田郡永平寺町	0.6	10	丹生郡越前町	79.6%

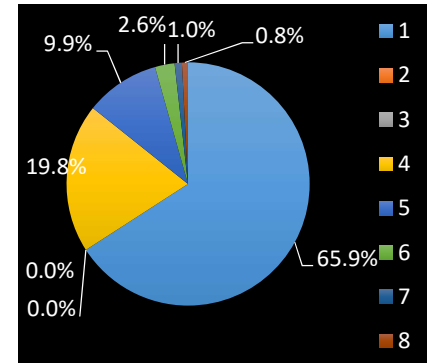
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山梨県

2020年度 15PJ 対前年度比 107.9%

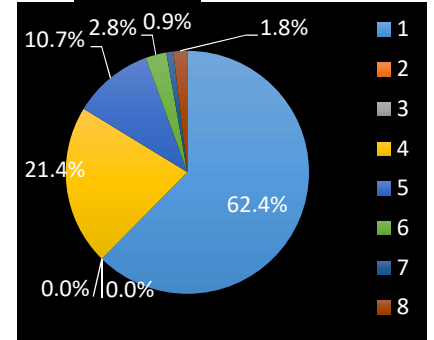


再生可能エネルギー供給状況

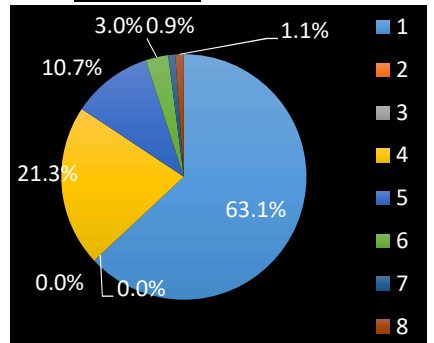
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 14PJ 対前年度比 100.1%



2018年度 14PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	30	11	27	65.9%
2 風力発電	0PJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	19	8	9	19.8%
5 バイオマス発電	1PJ	32	9	17	9.9%
6 太陽熱利用	0PJ	31	12	28	2.6%
7 地熱利用	0PJ	31	23	29	1.0%
8. バイオマス熱利用	0PJ	45	41	44	0.8%
合計(供給量)	15PJ	33			
再生可能エネルギー自給率			32.0%	再エネ自給率ランク 14	
食料自給率			17.1%	食料自給率ランク 37	
供給密度(TJ/km ²)			3.295	供給密度ランク 28	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				46PJ	
区域面積				4,461km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	南巨摩郡早川町	481.9%	1	中巨摩郡昭和町	17.7	1	北杜市	94.4%
☆2	北杜市	117.2%	2	甲斐市	17.3	2	韮崎市	48.3%
☆3	大月市	105.9%	3	中央市	9.4	3	甲州市	25.1%
4	甲州市	58.2%	4	南都留郡忍野村	9.1	4	中央市	22.8%
5	韮崎市	58.0%	5	甲府市	6.6	5	南巨摩郡南部町	22.8%
6	南都留郡忍野村	55.2%	6	韮崎市	6.0	6	南巨摩郡身延町	19.5%
7	山梨市	51.6%	7	笛吹市	5.2	7	笛吹市	17.9%
8	南都留郡鳴沢村	47.2%	8	北杜市	5.0	8	南アルプス市	17.9%
9	南アルプス市	39.7%	9	南アルプス市	4.4	9	山梨市	17.7%
10	甲斐市	35.8%	10	大月市	4.1	10	南都留郡富士河口湖町	17.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

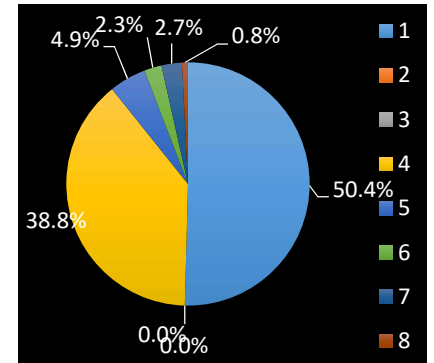
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長野県

2020年度 **36PJ** 対前年度比 103.0%

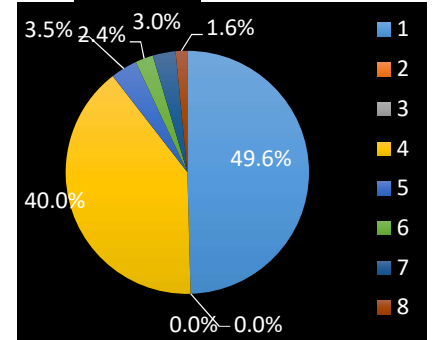


再生可能エネルギー供給状況

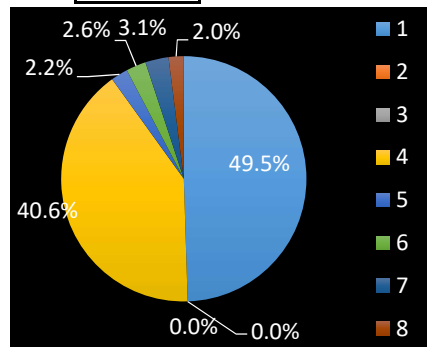
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 **35PJ** 対前年度比 102.0%



2018年度 **35PJ**



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	18PJ	20	22	36	50.4%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	14PJ	1	2	4	38.8%
5 バイオマス発電	2PJ	27	30	43	4.9%
6 太陽熱利用	1PJ	14	21	34	2.3%
7 地熱利用	1PJ	8	8	15	2.7%
8.バイオマス熱利用	0PJ	40	42	46	0.8%
合計(供給量)	36PJ	13			
再生可能エネルギー自給率			29.0%	再エネ自給率ランク	19
食料自給率			47.0%	食料自給率ランク	19
供給密度(TJ/km ²)			2.680	供給密度ランク	36
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				125PJ	
区域面積				13,562km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下伊那郡平谷村	1026.7%	1	諏訪市	9.0	☆1	南佐久郡川上村	736.1%
☆2	下伊那郡大鹿村	1014.1%	2	南佐久郡小海町	8.5	☆2	南佐久郡南牧村	616.9%
☆3	下水内郡栄村	507.3%	3	小諸市	8.5	☆3	下水内郡栄村	232.4%
☆4	南佐久郡小海町	345.2%	4	北佐久郡御代田町	6.3	☆4	下高井郡木島平村	220.7%
☆5	北安曇郡小谷村	221.0%	5	上伊那郡飯島町	5.8	☆5	北佐久郡立科町	204.9%
☆6	下伊那郡泰阜村	219.6%	6	上伊那郡南箕輪村	5.6	☆6	北安曇郡松川村	168.9%
☆7	下伊那郡阿南町	207.3%	7	東御市	5.5	☆7	上水内郡信濃町	166.4%
☆8	下伊那郡阿智村	196.6%	8	下伊那郡平谷村	5.4	☆8	諏訪郡原村	148.3%
☆9	小県郡長和町	169.4%	9	上高井郡小布施町	4.9	☆9	飯山市	148.3%
☆10	南佐久郡佐久穂町	151.1%	10	安曇野市	4.9	☆10	上水内郡飯綱町	147.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岐阜県

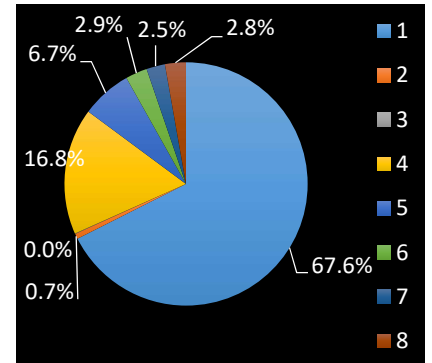
再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

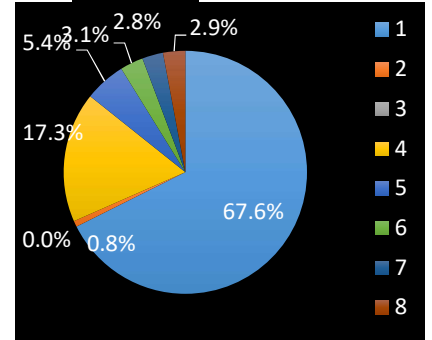
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	19PJ	18	17	32	67.6%
○ 2 風力発電	0PJ	31	31	33	0.7%
○ 3 地熱発電	0PJ	8	8	8	0.0%
○ 4 小水力発電	5PJ	10	15	17	16.8%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	24	22	37	6.7%
○ 6 太陽熱利用	1PJ	15	14	32	2.9%
○ 7 地熱利用	1PJ	11	12	17	2.5%
○ 8 バイオマス熱利用	1PJ	28	27	35	2.8%
合計(供給量)	28PJ	23			
再生可能エネルギー自給率			26.2%	再エネ自給率ランク 23	
食料自給率			22.6%	食料自給率ランク 34	
供給密度(TJ/km ²)			2.635	供給密度ランク 38	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				107PJ	
区域面積				10,621km ²	

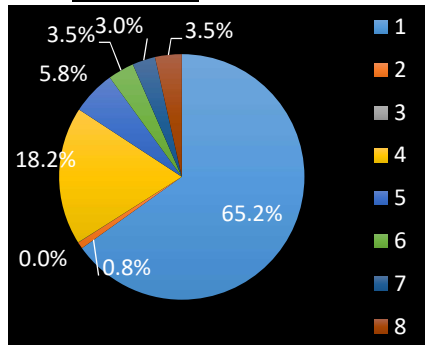
2020年度 28PJ 対前年度比 106.6%



2019年度 26PJ 対前年度比 107.7%



2018年度 24PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	加茂郡富加町	109.6%	1	瑞穂市	44.8	☆1	海津市	140.7%
2	揖斐郡揖斐川町	92.4%	2	羽島郡岐南町	18.0	☆2	安八郡輪之内町	110.9%
3	恵那市	88.7%	3	本巣郡北方町	17.5	3	養老郡養老町	88.3%
4	加茂郡川辺町	88.5%	4	加茂郡川辺町	15.1	4	加茂郡東白川村	63.9%
5	加茂郡白川町	88.3%	5	加茂郡富加町	13.5	5	加茂郡白川町	62.7%
6	加茂郡八百津町	68.9%	6	各務原市	13.0	6	揖斐郡揖斐川町	60.3%
7	飛騨市	62.6%	7	羽島郡笠松町	12.3	7	高山市	54.1%
8	美濃市	59.4%	8	多治見市	12.1	8	郡上市	52.9%
9	本巣市	58.9%	9	安八郡神戸町	10.8	9	大野郡白川村	50.4%
10	加茂郡東白川村	54.5%	10	岐阜市	10.6	10	飛騨市	49.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

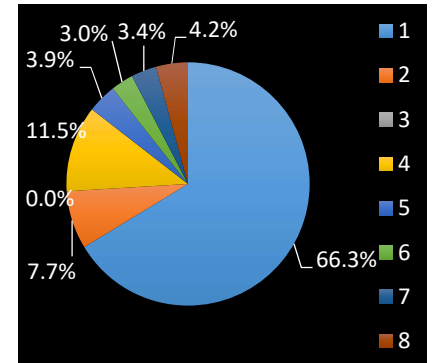
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

静岡県

2020年度 47PJ 対前年度比 108.8%



再生可能エネルギー供給状況

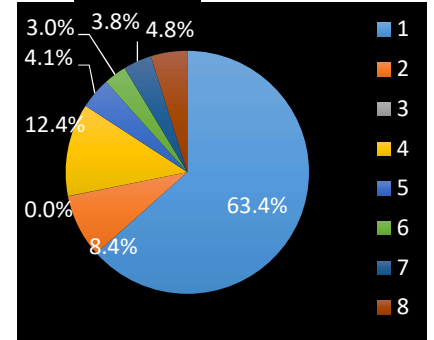
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

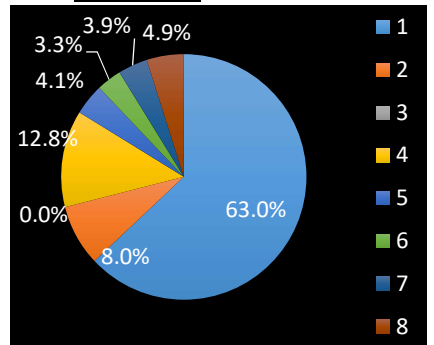
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	31PJ	5	20	13	66.3%
2 風力発電	4PJ	7	18	8	7.7%
3 地熱発電	0PJ	9	10	10	0.0%
○ 4 小水力発電	5PJ	8	24	8	11.5%
5 バイオマス発電	2PJ	26	44	29	3.9%
6 太陽熱利用	1PJ	6	20	11	3.0%
7 地熱利用	2PJ	4	9	3	3.4%
8 バイオマス熱利用	2PJ	6	20	12	4.2%
合計(供給量)	47PJ	4			
再生可能エネルギー自給率			23.3%	再エネ自給率ランク 26	
食料自給率			13.5%	食料自給率ランク 40	
供給密度(TJ/km ²)			6.026	供給密度ランク 12	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				201PJ	
区域面積				7,777km ²	

2019年度 43PJ 対前年度比 104.0%



2018年度 41PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	賀茂郡河津町	169.2%	1	御前崎市	21.0	1	焼津市	50.5%
☆2	賀茂郡南伊豆町	167.8%	2	湖西市	19.0	2	周智郡森町	43.5%
☆3	駿東郡小山町	109.9%	3	榛原郡吉田町	17.9	3	御前崎市	38.2%
4	牧之原市	85.4%	4	牧之原市	15.9	4	袋井市	32.1%
5	御前崎市	83.8%	5	焼津市	15.7	5	菊川市	30.4%
6	賀茂郡東伊豆町	79.1%	6	磐田市	15.0	6	沼津市	27.9%
7	富士宮市	51.1%	7	袋井市	11.9	7	駿東郡小山町	27.3%
8	湖西市	50.0%	8	菊川市	11.5	8	掛川市	26.4%
9	掛川市	49.8%	9	掛川市	10.5	9	牧之原市	26.0%
10	菊川市	46.9%	10	熱海市	10.0	10	伊豆市	23.1%

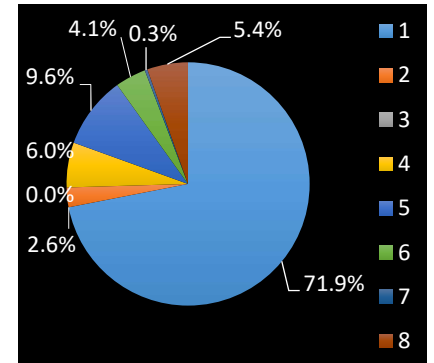
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛知県

2020年度 52PJ 対前年度比 104.4%

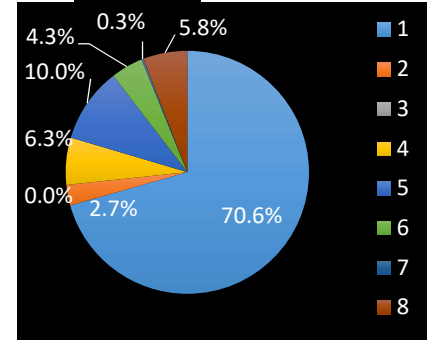


再生可能エネルギー供給状況

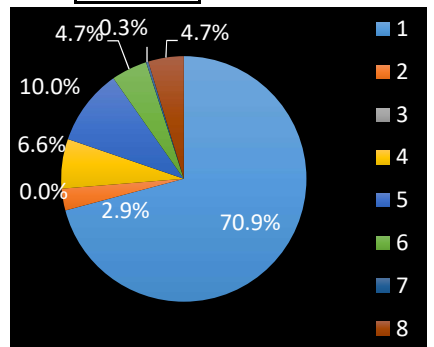
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 50PJ 対前年度比 104.9%



2018年度 47PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	37PJ	2	32	2	71.9%
2 風力発電	1PJ	20	29	17	2.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	3PJ	16	33	11	6.0%
5 バイオマス発電	5PJ	7	34	4	9.6%
6 太陽熱利用	2PJ	1	25	4	4.1%
7 地熱利用	0PJ	29	36	27	0.3%
8.バイオマス熱利用	3PJ	3	28	3	5.4%
合計(供給量)	52PJ	3			
再生可能エネルギー自給率			13.1%	再エネ自給率ランク 38	
食料自給率			10.7%	食料自給率ランク 43	
供給密度(TJ/km ²)			10.043	供給密度ランク 3	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				396PJ	
区域面積				5,170km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田原市	110.5%	1	知多郡武豊町	45.9	☆1	海部郡飛島村	249.6%
2	知多郡美浜町	72.5%	2	名古屋市	22.0	☆2	知多郡南知多町	163.5%
3	知多郡武豊町	69.2%	3	半田市	21.7	☆3	田原市	136.6%
4	新城市	53.4%	4	知多郡東浦町	21.7	4	北設楽郡設楽町	95.6%
5	海部郡飛島村	50.0%	5	高浜市	21.6	5	弥富市	67.2%
6	知多郡東浦町	35.5%	6	尾張旭市	20.2	6	愛西市	64.7%
7	豊田市	32.5%	7	知多郡美浜町	19.7	7	知多郡美浜町	45.4%
8	知多郡阿久比町	30.7%	8	田原市	19.0	8	新城市	44.0%
9	常滑市	29.4%	9	岩倉市	18.9	9	西尾市	41.6%
10	弥富市	29.2%	10	北名古屋市	18.3	10	額田郡幸田町	30.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

三重県

再生可能エネルギー供給状況

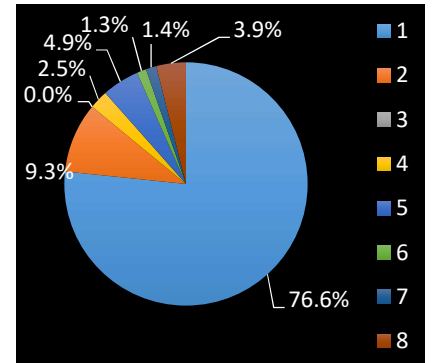
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

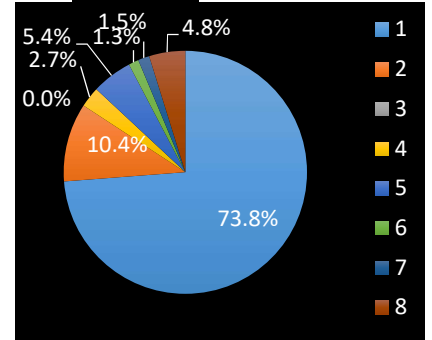
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	31PJ	6	3	8	76.6%
○ 2 風力発電	4PJ	6	10	3	9.3%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	35	32	36	2.5%
5 バイオマス発電	2PJ	20	20	16	4.9%
6 太陽熱利用	1PJ	27	27	27	1.3%
7 地熱利用	1PJ	12	14	10	1.4%
8.バイオマス熱利用	2PJ	11	11	11	3.9%
合計(供給量)	40PJ	9			
再生可能エネルギー自給率			38.1%	再エネ自給率ランク	6
食料自給率			36.4%	食料自給率ランク	23
供給密度(TJ/km ²)			6.983	供給密度ランク	9
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				106PJ	
区域面積				5,774km ²	

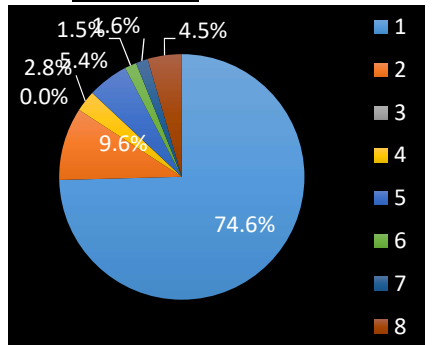
2020年度 40PJ 対前年度比 109.3%



2019年度 37PJ 対前年度比 104.0%



2018年度 35PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	度会郡度会町	374.8%	1	三重郡川越町	115.7	☆1	度会郡南伊勢町	336.4%
☆2	多気郡大台町	146.8%	2	多気郡明和町	19.6	☆2	桑名郡木曾岬町	124.6%
☆3	多気郡多気町	138.2%	3	員弁郡東員町	18.1	☆3	度会郡玉城町	107.5%
4	伊賀市	89.6%	4	四日市市	16.9	☆4	鳥羽市	104.8%
5	多気郡明和町	80.0%	5	鈴鹿市	14.9	5	多気郡多気町	100.0%
6	いなべ市	75.8%	6	桑名市	11.6	6	多気郡明和町	99.4%
7	鳥羽市	71.1%	7	三重郡朝日町	11.3	7	南牟婁郡御浜町	95.5%
8	北牟婁郡紀北町	60.7%	8	度会郡度会町	9.7	8	北牟婁郡紀北町	91.0%
9	三重郡川越町	59.3%	9	津市	9.4	9	伊賀市	86.0%
10	志摩市	57.5%	10	志摩市	9.1	10	度会郡大紀町	62.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

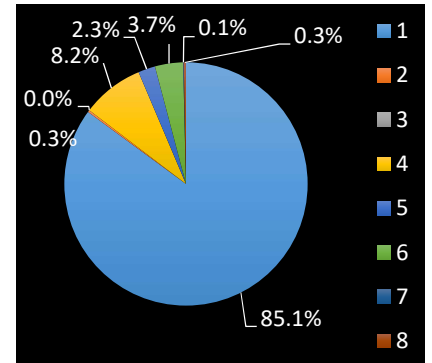
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

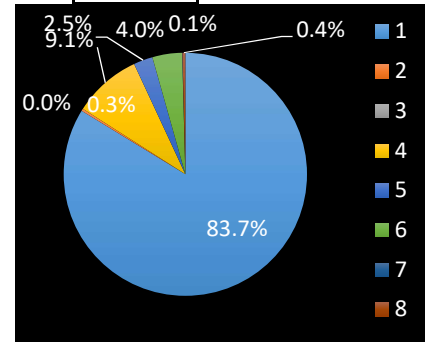
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

滋賀県

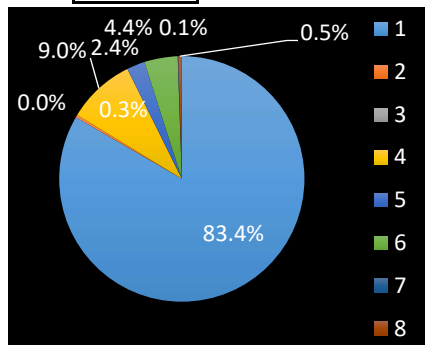
2020年度 12PJ 対前年度比 110.2%



2019年度 11PJ 対前年度比 99.2%



2018年度 11PJ



再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	28	26	22	85.1%
2 風力発電	0PJ	36	34	36	0.3%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	36	29	29	8.2%
5 バイオマス発電	0PJ	47	47	47	2.3%
6 太陽熱利用	0PJ	29	23	22	3.7%
7 地熱利用	0PJ	44	44	44	0.1%
8. バイオマス熱利用	0PJ	47	47	47	0.3%
合計(供給量)	12PJ	40			
再生可能エネルギー自給率			15.7%	再エネ自給率ランク 34	
食料自給率			45.6%	食料自給率ランク 20	
供給密度(TJ/km ²)			2.970	供給密度ランク 33	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				76PJ	
区域面積				4,017km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	蒲生郡日野町	56.9%	1	草津市	13.0	☆1	蒲生郡竜王町	159.2%
2	高島市	40.7%	2	犬上郡豊郷町	9.2	☆2	犬上郡甲良町	138.4%
3	米原市	40.3%	3	彦根市	8.4	☆3	高島市	117.0%
4	甲賀市	36.8%	4	愛知郡愛荘町	8.1	☆4	東近江市	108.0%
5	犬上郡甲良町	35.7%	5	守山市	7.2	5	蒲生郡日野町	97.5%
6	愛知郡愛荘町	34.9%	6	犬上郡甲良町	7.1	6	愛知郡愛荘町	89.0%
7	蒲生郡竜王町	33.1%	7	栗東市	7.0	7	長浜市	84.6%
8	犬上郡多賀町	30.2%	8	近江八幡市	5.5	8	近江八幡市	83.2%
9	東近江市	26.7%	9	野洲市	5.4	9	犬上郡多賀町	74.0%
10	犬上郡豊郷町	19.0%	10	蒲生郡竜王町	5.3	10	野洲市	73.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

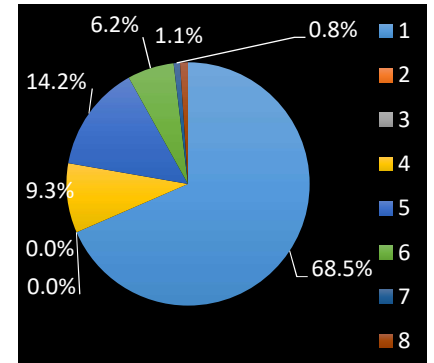
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

京都府

2020年度 10PJ 対前年度比 95.8%



再生可能エネルギー供給状況

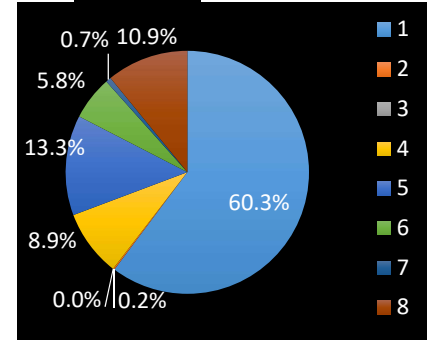
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

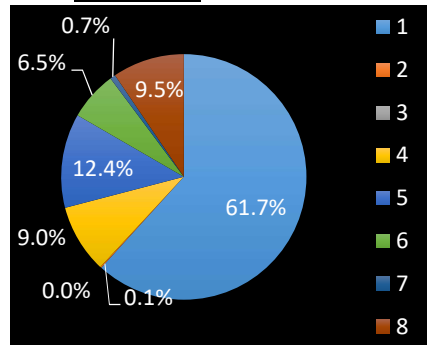
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7PJ	37	41	34	68.5%
2 風力発電	0PJ	41	41	41	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	38	37	33	9.3%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	33	43	21	14.2%
6 太陽熱利用	1PJ	25	29	15	6.2%
7 地熱利用	0PJ	33	33	34	0.8%
8.バイオマス熱利用	0PJ	46	46	45	1.1%
合計(供給量)	10PJ	44			
再生可能エネルギー自給率			6.6%	再エネ自給率ランク 44	
食料自給率			10.7%	食料自給率ランク 42	
供給密度(TJ/km ²)			2.104	供給密度ランク 40	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				145PJ	
区域面積				4,585km ²	

2019年度 10PJ 対前年度比 102.0%



2018年度 10PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	相楽郡南山城村	166.9%	1	木津川市	79.9	☆1	与謝郡伊根町	197.9%
☆2	相楽郡笠置町	101.0%	2	城陽市	10.7	☆2	船井郡京丹波町	127.9%
3	船井郡京丹波町	79.4%	3	向日市	9.2	3	京丹後市	93.5%
4	綴喜郡宇治田原町	56.6%	4	長岡京市	8.6	4	南丹市	88.6%
5	南丹市	29.6%	5	相楽郡精華町	8.0	5	綾部市	78.5%
6	綾部市	24.5%	6	八幡市	7.1	6	与謝郡与謝野町	56.1%
7	相楽郡和束町	22.5%	7	京田辺市	6.4	7	相楽郡南山城村	55.3%
8	木津川市	16.4%	8	宇治市	5.2	8	宮津市	41.5%
9	亀岡市	15.1%	9	久世郡久御山町	4.6	9	福知山市	35.9%
10	京丹後市	13.9%	10	京都市	4.1	10	亀岡市	34.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

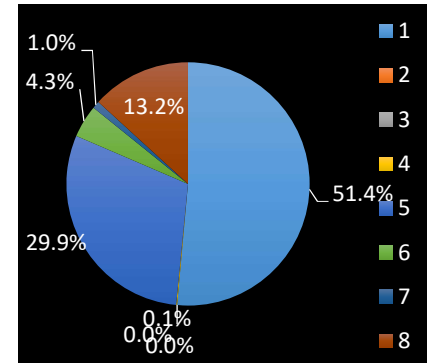
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

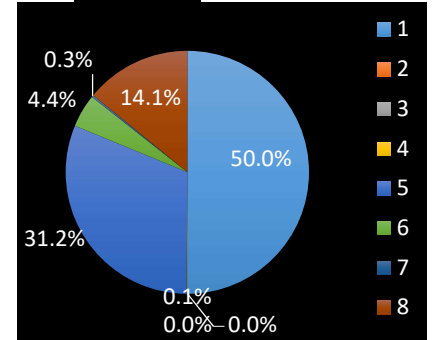
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大阪府

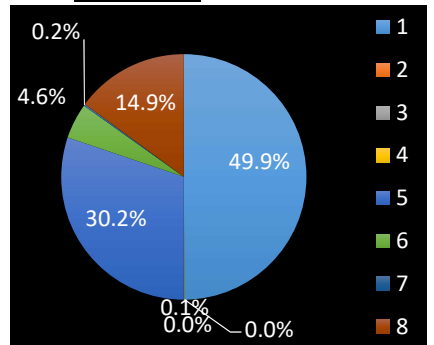
2020年度 27PJ 対前年度比 104.2%



2019年度 26PJ 対前年度比 98.1%



2018年度 26PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14PJ	23	44	3	51.4%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	46	46	44	0.1%
◎ 5 バイオマス発電	8PJ	4	25	2	29.9%
6 太陽熱利用	1PJ	8	36	1	4.3%
7 地熱利用	0PJ	24	34	7	1.0%
○ 8.バイオマス熱利用	4PJ	1	29	1	13.2%
合計(供給量)	27PJ	24			
再生可能エネルギー自給率			5.2%	再エネ自給率ランク 46	
食料自給率			1.3%	食料自給率ランク 46	
供給密度(TJ/km ²)			14.024	供給密度ランク 1	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				513PJ	
区域面積				1,905km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	泉南郡岬町	37.3%	1	豊中市	35.5	☆1	豊能郡能勢町	107.0%
2	豊能郡能勢町	22.7%	2	泉大津市	35.1	2	南河内郡河南町	48.9%
3	泉南市	18.2%	3	大阪市	31.2	3	南河内郡千早赤阪村	23.4%
4	豊能郡豊能町	17.9%	4	八尾市	24.6	4	阪南市	9.9%
5	柏原市	15.7%	5	寝屋川市	24.4	5	南河内郡太子町	9.8%
6	南河内郡河南町	15.3%	6	堺市	23.5	6	豊能郡豊能町	9.3%
7	南河内郡千早赤阪村	14.9%	7	東大阪市	20.1	7	泉南郡岬町	7.0%
8	四條畷市	14.5%	8	柏原市	19.5	8	泉佐野市	6.7%
9	南河内郡太子町	13.1%	9	茨木市	17.7	9	泉南市	6.5%
10	泉大津市	12.5%	10	四條畷市	17.0	10	岸和田市	5.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

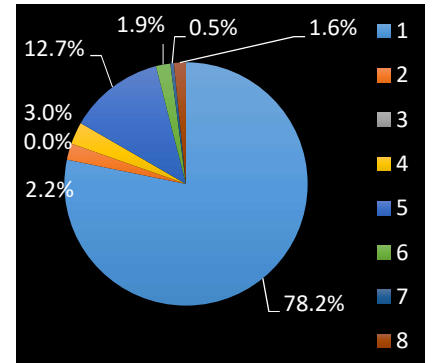
兵庫県

再生可能エネルギー供給状況

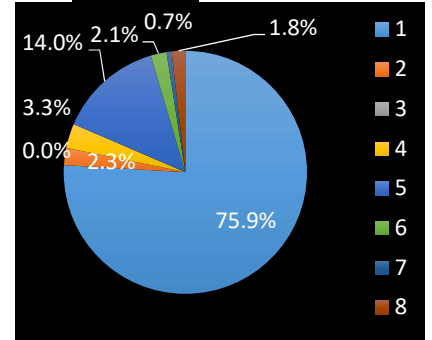
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

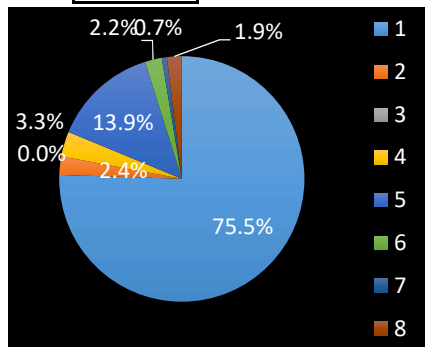
2020年度 45PJ 対前年度比 110.3%



2019年度 41PJ 対前年度比 101.7%



2018年度 40PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	35PJ	3	24	12	78.2%
2 風力発電	1PJ	22	27	26	2.2%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	32	38	37	3.0%
○ 5 バイオマス発電	6PJ	5	15	8	12.7%
6 太陽熱利用	1PJ	12	31	24	1.9%
7 地熱利用	0PJ	28	30	31	0.5%
8.バイオマス熱利用	1PJ	31	40	33	1.6%
合計(供給量)	45PJ	6			
再生可能エネルギー自給率			17.3%	再エネ自給率ランク 32	
食料自給率			14.0%	食料自給率ランク 39	
供給密度(TJ/km ²)			5.335	供給密度ランク 16	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				258PJ	
区域面積				8,401km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	赤穂郡上郡町	206.8%	1	尼崎市	27.8	☆1	南あわじ市	126.6%
☆2	淡路市	146.8%	2	明石市	24.3	☆2	丹波篠山市	103.4%
☆3	佐用郡佐用町	110.2%	3	加古郡稲美町	21.0	3	美方郡新温泉町	90.2%
☆4	神崎郡神河町	106.6%	4	加古郡播磨町	17.7	4	加西市	89.0%
5	加西市	97.9%	5	高砂市	17.2	5	丹波市	85.2%
6	赤穂市	96.6%	6	赤穂市	16.1	6	佐用郡佐用町	83.2%
7	南あわじ市	87.3%	7	西宮市	16.0	7	加東市	75.8%
8	多可郡多可町	75.6%	8	淡路市	15.6	8	美方郡香美町	75.7%
9	宍粟市	74.2%	9	小野市	13.0	9	淡路市	72.2%
10	丹波市	69.7%	10	伊丹市	11.9	10	神崎郡市川町	70.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

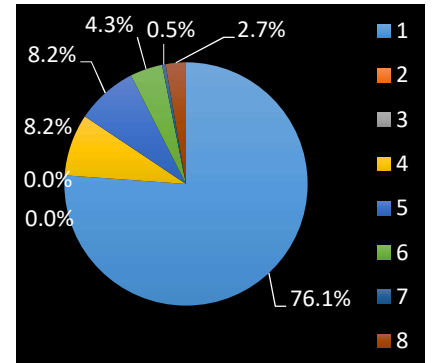
奈良県

再生可能エネルギー供給状況

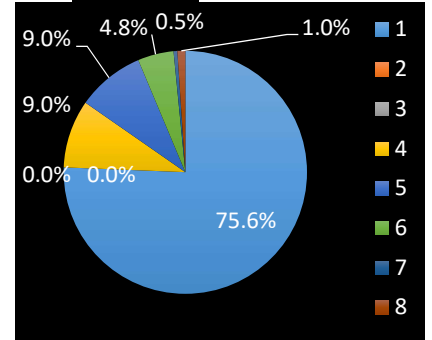
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

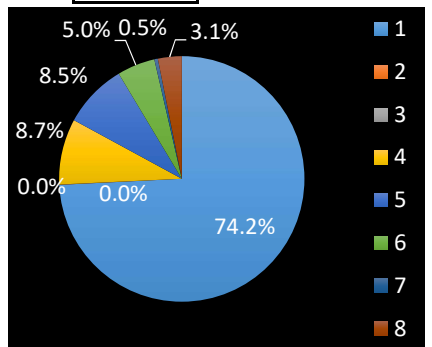
2020年度 9PJ 対前年度比 110.5%



2019年度 8PJ 対前年度比 96.1%



2018年度 8PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7PJ	36	31	31	76.1%
2 風力発電	0PJ	38	38	39	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	39	31	32	8.2%
5 バイオマス発電	1PJ	41	39	35	8.2%
6 太陽熱利用	0PJ	32	24	25	4.3%
7 地熱利用	0PJ	38	31	37	0.5%
8. バイオマス熱利用	0PJ	43	38	36	2.7%
合計(供給量)	9PJ	45			
再生可能エネルギー自給率			12.7%	再エネ自給率ランク	40
食料自給率			12.4%	食料自給率ランク	41
供給密度(TJ/km ²)			2.380	供給密度ランク	39
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				69PJ	
区域面積				3,691km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	吉野郡上北山村	298.0%	1	吉野郡大淀町	17.7	☆1	宇陀郡御杖村	104.1%
☆2	吉野郡吉野町	151.4%	2	橿原市	12.0	2	五條市	75.9%
3	吉野郡大淀町	76.3%	3	生駒郡安堵町	11.7	3	山辺郡山添村	71.7%
4	山辺郡山添村	42.4%	4	香芝市	11.0	4	宇陀郡曾爾村	63.9%
5	宇陀郡御杖村	38.8%	5	大和高田市	10.8	5	高市郡明日香村	57.4%
6	五條市	35.4%	6	北葛城郡王寺町	10.6	6	宇陀市	46.4%
7	御所市	34.0%	7	磯城郡三宅町	10.1	7	御所市	38.9%
8	宇陀市	27.8%	8	磯城郡川西町	10.0	8	磯城郡田原本町	31.4%
9	高市郡高取町	24.0%	9	北葛城郡広陵町	9.5	9	磯城郡三宅町	28.6%
10	吉野郡下市町	23.6%	10	北葛城郡上牧町	9.3	10	高市郡高取町	28.1%

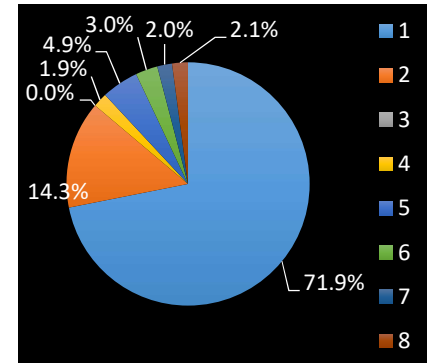
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

和歌山県

2020年度 13PJ 対前年度比 111.1%

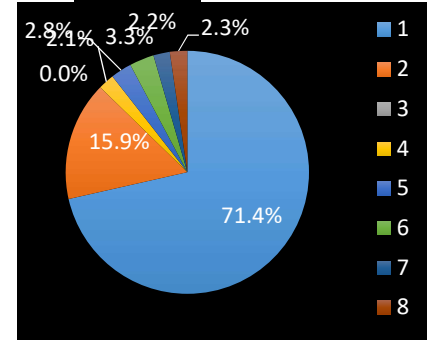


再生可能エネルギー供給状況

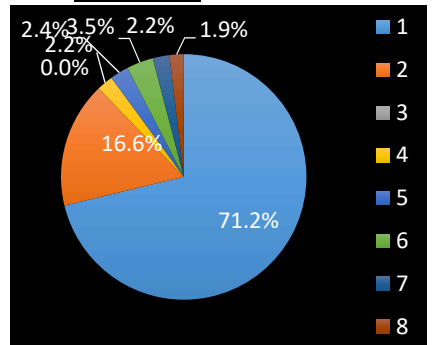
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 12PJ 対前年度比 102.3%



2018年度 12PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	31	16	28	71.9%
○ 2 風力発電	2PJ	15	9	9	14.3%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	42	39	43	1.9%
5 バイオマス発電	1PJ	43	35	42	4.9%
6 太陽熱利用	0PJ	30	16	30	3.0%
7 地熱利用	0PJ	22	17	21	2.0%
8.バイオマス熱利用	0PJ	41	32	38	2.1%
合計(供給量)	13PJ	37			
再生可能エネルギー自給率			25.2%	再エネ自給率ランク 25	
食料自給率			26.0%	食料自給率ランク 32	
供給密度(TJ/km ²)			2.851	供給密度ランク 34	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				53PJ	
区域面積				4,725km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	日高郡印南町	218.8%	1	有田市	16.8	☆1	日高郡みなべ町	132.3%
☆2	日高郡日高川町	150.1%	2	岩出市	16.7	2	有田郡有田川町	87.5%
☆3	有田郡広川町	147.6%	3	西牟婁郡上富田町	14.5	3	有田郡広川町	84.1%
☆4	西牟婁郡すさみ町	126.6%	4	和歌山市	12.9	4	日高郡印南町	80.3%
☆5	西牟婁郡上富田町	111.3%	5	日高郡美浜町	9.6	5	日高郡日高町	77.8%
6	日高郡由良町	76.0%	6	有田郡広川町	7.8	6	日高郡日高川町	73.2%
7	有田郡有田川町	66.1%	7	日高郡由良町	7.3	7	伊都郡かつらぎ町	57.4%
8	西牟婁郡白浜町	48.7%	8	日高郡印南町	6.8	8	有田郡湯浅町	57.1%
9	有田市	44.3%	9	御坊市	6.6	9	紀の川市	51.7%
10	日高郡日高町	42.3%	10	紀の川市	4.4	10	日高郡由良町	46.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

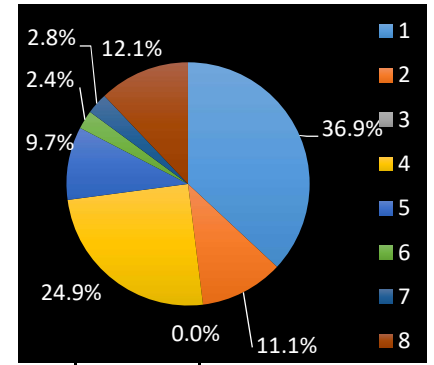
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

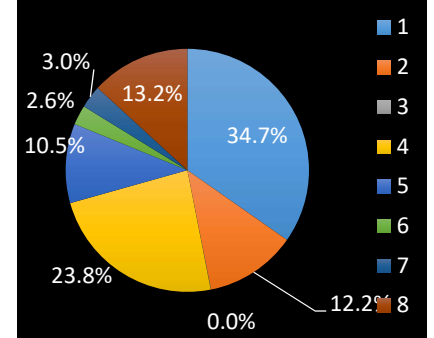
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鳥取県

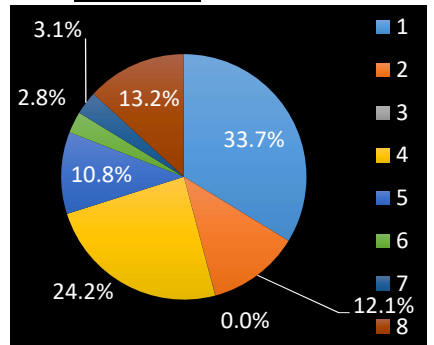
2020年度 11PJ 対前年度比 108.4%



2019年度 10PJ 対前年度比 102.1%



2018年度 10PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	41	27	37	36.9%
○ 2 風力発電	1PJ	21	12	13	11.1%
3 地熱発電	0PJ	12	11	12	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	21	3	6	24.9%
5 バイオマス発電	1PJ	36	10	22	9.7%
6 太陽熱利用	0PJ	36	15	33	2.4%
7 地熱利用	0PJ	21	7	13	2.8%
○ 8 バイオマス熱利用	1PJ	14	2	7	12.1%
合計(供給量)	11PJ	42			
再生可能エネルギー自給率			31.0%	再エネ自給率ランク 15	
食料自給率			57.2%	食料自給率ランク 15	
供給密度(TJ/km ²)			3.008	供給密度ランク 31	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				34PJ	
区域面積				3,507km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	八頭郡若桜町	340.0%	1	境港市	33.1	☆1	日野郡日南町	298.5%
☆2	西伯郡大山町	119.2%	2	米子市	14.0	☆2	日野郡江府町	185.1%
☆3	西伯郡伯耆町	106.0%	3	東伯郡北栄町	6.0	☆3	西伯郡大山町	182.7%
4	東伯郡三朝町	70.8%	4	西伯郡大山町	4.8	☆4	境港市	144.3%
5	日野郡江府町	70.3%	5	西伯郡伯耆町	4.4	☆5	東伯郡琴浦町	120.9%
6	東伯郡琴浦町	63.6%	6	東伯郡琴浦町	3.8	☆6	西伯郡伯耆町	119.6%
7	八頭郡八頭町	58.9%	7	鳥取市	3.3	☆7	東伯郡北栄町	114.6%
8	東伯郡北栄町	50.0%	8	八頭郡若桜町	3.1	☆8	岩美郡岩美町	108.7%
9	日野郡日南町	39.7%	9	東伯郡湯梨浜町	2.8	9	八頭郡八頭町	97.9%
10	境港市	39.6%	10	西伯郡日吉津村	2.7	10	日野郡日野町	96.9%

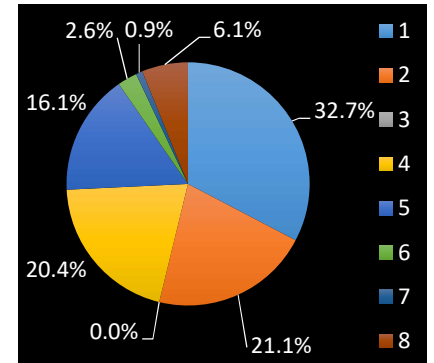
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

島根県

2020年度 12PJ 対前年度比 97.2%

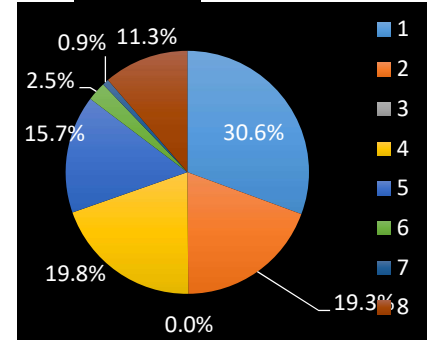


再生可能エネルギー供給状況

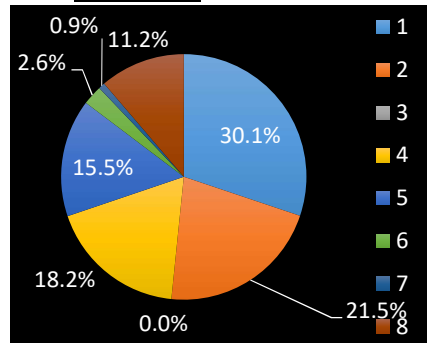
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 12PJ 対前年度比 99.0%



2018年度 12PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	42	33	43	32.7%
◎ 2 風力発電	2PJ	11	3	12	21.1%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	2PJ	22	10	23	20.4%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	23	3	25	16.1%
6 太陽熱利用	0PJ	34	19	36	2.6%
7 地熱利用	0PJ	32	25	35	0.9%
8.バイオマス熱利用	1PJ	32	10	30	6.1%
合計(供給量)	12PJ	41			
再生可能エネルギー自給率			27.4%	再エネ自給率ランク 21	
食料自給率			55.9%	食料自給率ランク 16	
供給密度(TJ/km ²)			1.741	供給密度ランク 42	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				43PJ	
区域面積				6,708km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	江津市	154.6%	1	江津市	7.7	☆1	隠岐郡西ノ島町	365.2%
2	鹿足郡津和野町	73.5%	2	出雲市	3.9	☆2	飯石郡飯南町	296.9%
3	雲南市	58.7%	3	松江市	3.4	☆3	仁多郡奥出雲町	215.7%
4	邑智郡美郷町	43.0%	4	浜田市	2.6	☆4	隠岐郡隠岐の島町	214.2%
5	浜田市	42.8%	5	雲南市	2.0	☆5	邑智郡邑南町	176.8%
6	仁多郡奥出雲町	36.3%	6	隠岐郡海士町	1.6	☆6	鹿足郡吉賀町	122.8%
7	隠岐郡海士町	29.7%	7	鹿足郡津和野町	1.2	☆7	安来市	101.2%
8	出雲市	25.0%	8	益田市	1.0	8	邑智郡美郷町	85.2%
9	益田市	24.6%	9	安来市	0.9	9	鹿足郡津和野町	84.4%
10	鹿足郡吉賀町	23.0%	10	仁多郡奥出雲町	0.8	10	大田市	84.4%

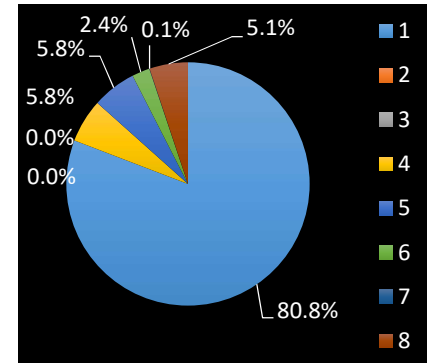
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岡山県

2020年度 34PJ 対前年度比 115.2%

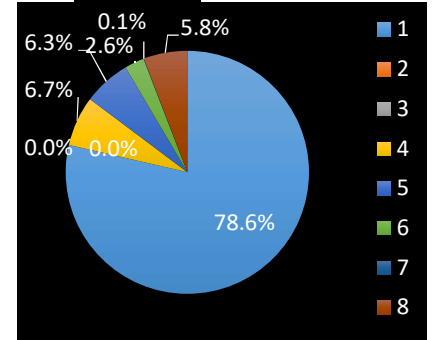


再生可能エネルギー供給状況

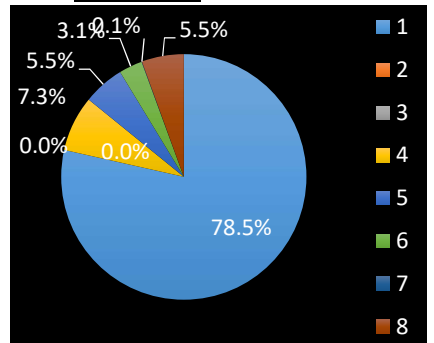
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 29PJ 対前年度比 109.8%



2018年度 27PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	27PJ	11	5	14	80.8%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	2PJ	25	26	27	5.8%
5 バイオマス発電	2PJ	22	18	26	5.8%
6 太陽熱利用	1PJ	16	10	21	2.4%
7 地熱利用	0PJ	43	42	43	0.1%
8.バイオマス熱利用	2PJ	9	8	14	5.1%
合計(供給量)	34PJ	16			
再生可能エネルギー自給率			35.8%	再エネ自給率ランク 9	
食料自給率			32.0%	食料自給率ランク 28	
供給密度(TJ/km ²)			4.717	供給密度ランク 18	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				94PJ	
区域面積				7,107km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	美作市	257.8%	1	岡山市	24.2	☆1	岡山市	214.2%
☆2	和気郡和気町	252.6%	2	瀬戸内市	23.9	☆2	真庭郡新庄村	193.3%
☆3	久米郡久米南町	236.4%	3	都窪郡早島町	21.3	☆3	加賀郡吉備中央町	185.9%
☆4	勝田郡奈義町	207.0%	4	笠岡市	11.8	☆4	勝田郡奈義町	166.0%
☆5	瀬戸内市	182.7%	5	和気郡和気町	10.8	☆5	久米郡久米南町	144.5%
☆6	苫田郡鏡野町	152.3%	6	倉敷市	10.7	☆6	苫田郡鏡野町	139.2%
☆7	真庭市	108.6%	7	勝田郡奈義町	9.2	☆7	勝田郡勝央町	114.9%
☆8	久米郡美咲町	106.9%	8	浅口郡里庄町	8.8	☆8	久米郡美咲町	110.3%
9	加賀郡吉備中央町	98.4%	9	浅口市	8.7	9	美作市	97.9%
10	笠岡市	68.7%	10	玉野市	8.3	10	真庭市	95.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

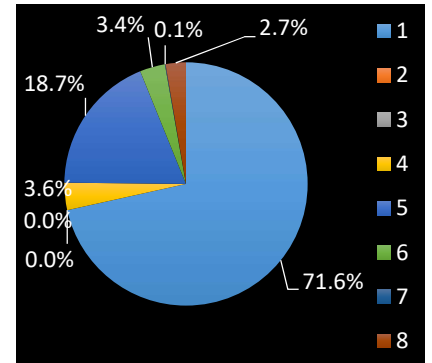
広島県

再生可能エネルギー供給状況

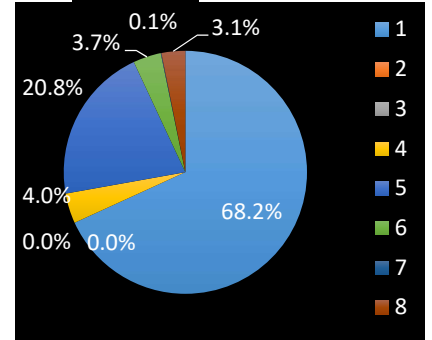
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

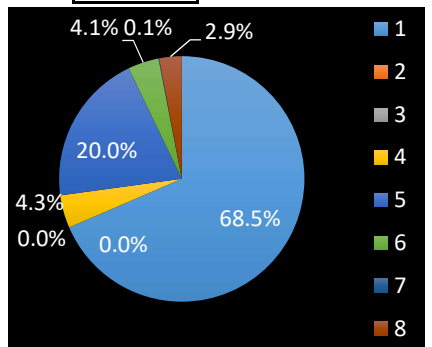
2020年度 29PJ 対前年度比 111.6%



2019年度 26PJ 対前年度比 108.3%



2018年度 24PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	21PJ	16	25	24	71.6%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	34	34	39	3.6%
○ 5 バイオマス発電	5PJ	6	7	9	18.7%
6 太陽熱利用	1PJ	10	22	19	3.4%
7 地熱利用	0PJ	42	43	42	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	27	33	32	2.7%
合計(供給量)	29PJ	21			
再生可能エネルギー自給率			18.8%	再エネ自給率ランク 30	
食料自給率			18.7%	食料自給率ランク 36	
供給密度(TJ/km ²)			3.433	供給密度ランク 25	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				155PJ	
区域面積				8,480km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	山県郡北広島町	109.9%	1	安芸郡府中町	22.8	☆1	世羅郡世羅町	253.0%
2	神石郡神石高原町	81.9%	2	呉市	13.3	☆2	山県郡北広島町	229.5%
3	庄原市	64.7%	3	安芸郡熊野町	7.1	☆3	庄原市	197.7%
4	安芸高田市	58.3%	4	福山市	6.7	☆4	神石郡神石高原町	167.9%
5	世羅郡世羅町	54.9%	5	東広島市	5.5	☆5	安芸高田市	164.0%
6	廿日市市	48.5%	6	廿日市市	5.4	☆6	三次市	116.2%
7	三次市	45.1%	7	尾道市	5.1	7	江田島市	86.4%
8	豊田郡大崎上島町	41.4%	8	安芸郡海田町	4.5	8	山県郡安芸太田町	60.8%
9	呉市	39.8%	9	豊田郡大崎上島町	4.2	9	三原市	46.2%
10	東広島市	35.2%	10	広島市	4.0	10	東広島市	31.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

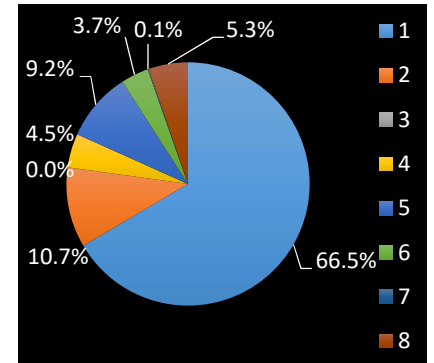
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山口県

2020年度 21PJ 対前年度比 110.1%

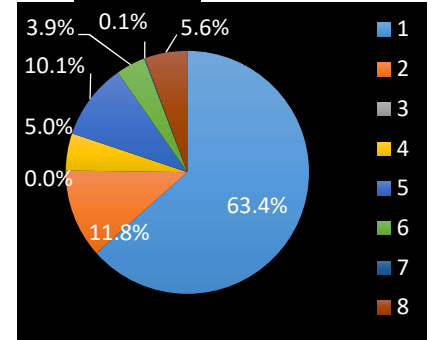


再生可能エネルギー供給状況

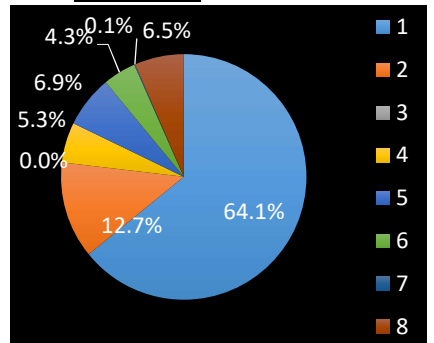
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 19PJ 対前年度比 107.2%



2018年度 18PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14PJ	22	15	26	66.5%
○ 2 風力発電	2PJ	14	14	11	10.7%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	37	30	38	4.5%
5 バイオマス発電	2PJ	21	13	18	9.2%
6 太陽熱利用	1PJ	18	7	16	3.7%
7 地熱利用	0PJ	41	37	41	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	19	12	18	5.3%
合計(供給量)	21PJ	27			
再生可能エネルギー自給率			27.7%	再エネ自給率ランク 20	
食料自給率			22.4%	食料自給率ランク 35	
供給密度(TJ/km ²)			3.496	供給密度ランク 24	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				77PJ	
区域面積				6,113km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	熊毛郡平生町	116.9%	1	熊毛郡平生町	33.6	☆1	阿武郡阿武町	209.9%
2	美祢市	96.6%	2	山陽小野田市	10.4	2	美祢市	81.0%
3	山陽小野田市	44.9%	3	防府市	10.1	3	萩市	72.7%
4	熊毛郡田布施町	44.9%	4	宇部市	8.2	4	長門市	64.7%
5	柳井市	39.0%	5	下松市	5.9	5	山口市	37.3%
6	防府市	32.0%	6	下関市	5.8	6	大島郡周防大島町	33.8%
7	大島郡周防大島町	30.2%	7	熊毛郡田布施町	5.5	7	柳井市	32.2%
8	下関市	27.9%	8	柳井市	5.3	8	熊毛郡田布施町	24.8%
9	岩国市	26.8%	9	光市	5.3	9	下関市	20.0%
10	宇部市	26.4%	10	美祢市	2.7	10	山陽小野田市	16.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

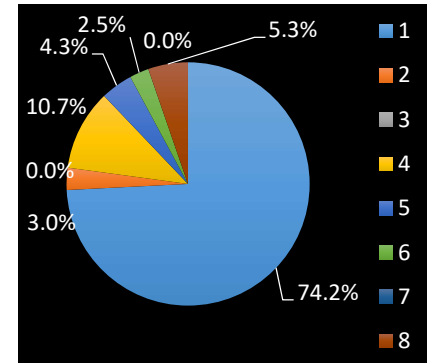
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

徳島県

2020年度 14PJ 対前年度比 110.8%

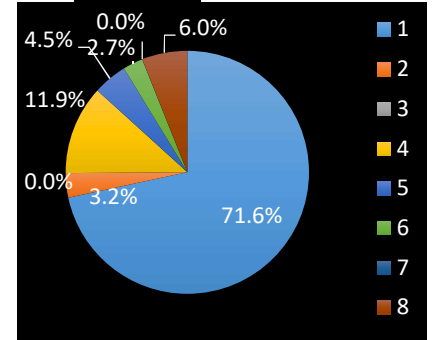


再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

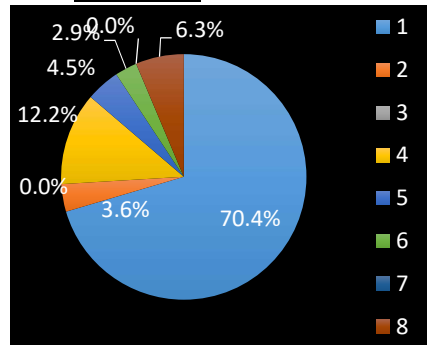
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 12PJ 対前年度比 102.9%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	27	8	23	74.2%
2 風力発電	0PJ	30	22	27	3.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	29	19	24	10.7%
5 バイオマス発電	1PJ	45	31	41	4.3%
6 太陽熱利用	0PJ	33	13	31	2.5%
7 地熱利用	0PJ	47	46	47	0.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	30	9	19	5.3%
合計(供給量)	14PJ	35			
再生可能エネルギー自給率			32.6%	再エネ自給率ランク 13	
食料自給率			35.1%	食料自給率ランク 25	
供給密度(TJ/km ²)			3.324	供給密度ランク 27	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				42PJ	
区域面積				4,147km ²	

2018年度 12PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	名東郡佐那河内村	507.8%	1	小松島市	31.5	☆1	阿波市	125.6%
☆2	阿波市	124.9%	2	板野郡北島町	19.0	2	勝浦郡勝浦町	99.4%
☆3	三好市	118.8%	3	板野郡松茂町	13.1	3	名東郡佐那河内村	80.0%
4	板野郡上板町	71.8%	4	板野郡藍住町	11.4	4	海部郡海陽町	77.2%
5	美馬市	66.0%	5	板野郡上板町	10.8	5	板野郡上板町	70.3%
6	阿南市	50.6%	6	名東郡佐那河内村	10.0	6	阿南市	58.4%
7	小松島市	50.1%	7	名西郡石井町	9.9	7	板野郡板野町	54.0%
8	美馬郡つるぎ町	44.1%	8	阿波市	9.4	8	小松島市	51.5%
9	吉野川市	42.7%	9	徳島市	8.9	9	美馬市	48.0%
10	那賀郡那賀町	42.3%	10	鳴門市	6.9	10	板野郡松茂町	47.1%

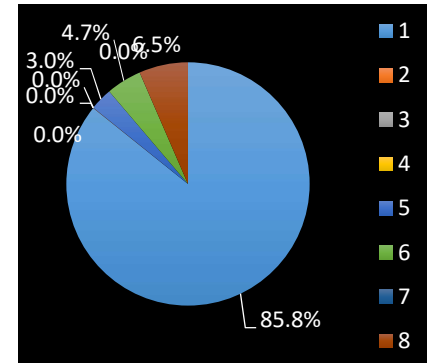
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

香川県

2020年度 13PJ 対前年度比 110.2%



再生可能エネルギー供給状況

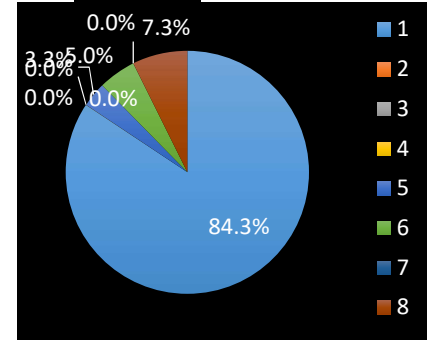
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

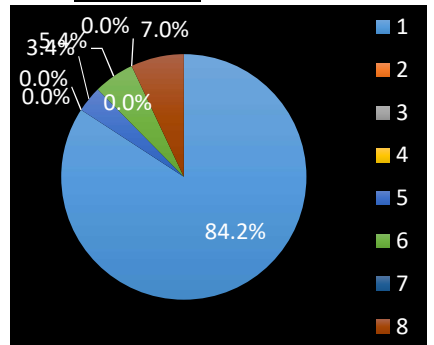
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11PJ	26	14	5	85.8%
2 風力発電	0PJ	39	39	38	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	47	47	47	0.0%
5 バイオマス発電	0PJ	46	46	31	3.0%
6 太陽熱利用	1PJ	24	6	7	4.7%
7 地熱利用	0PJ	46	47	46	0.0%
8. バイオマス熱利用	1PJ	26	13	4	6.5%
合計(供給量)	13PJ	39			
再生可能エネルギー自給率			21.7%	再エネ自給率ランク 28	
食料自給率			30.9%	食料自給率ランク 30	
供給密度(TJ/km ²)			6.831	供給密度ランク 10	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				59PJ	
区域面積				1,877km ²	

2019年度 12PJ 対前年度比 101.1%



2018年度 12PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	仲多度郡まんのう町	91.5%	1	綾歌郡宇多津町	17.7	☆1	仲多度郡まんのう町	112.7%
2	三豊市	56.7%	2	坂出市	10.0	2	綾歌郡綾川町	84.4%
3	さぬき市	37.3%	3	高松市	9.6	3	香川郡直島町	78.0%
4	綾歌郡綾川町	36.6%	4	三豊市	9.2	4	三豊市	64.2%
5	東かがわ市	31.4%	5	丸亀市	9.2	5	東かがわ市	60.6%
6	木田郡三木町	30.7%	6	仲多度郡多度津町	8.2	6	観音寺市	60.6%
7	観音寺市	28.4%	7	観音寺市	8.1	7	さぬき市	58.4%
8	坂出市	28.3%	8	善通寺市	7.5	8	木田郡三木町	50.7%
9	小豆郡小豆島町	23.6%	9	仲多度郡琴平町	6.7	9	善通寺市	34.7%
10	仲多度郡多度津町	18.1%	10	さぬき市	6.0	10	仲多度郡琴平町	32.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

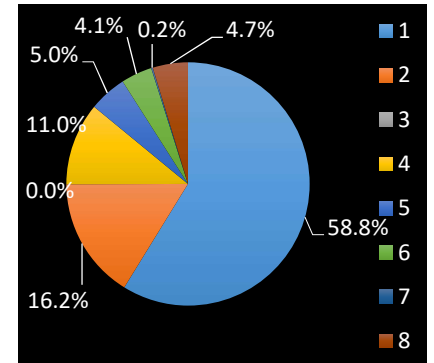
愛媛県

再生可能エネルギー供給状況

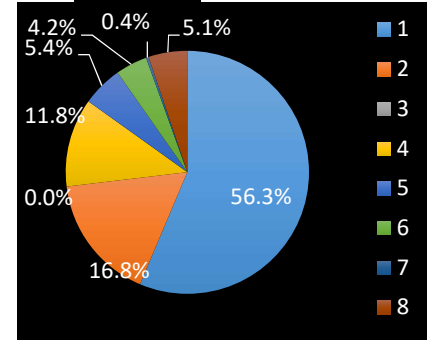
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

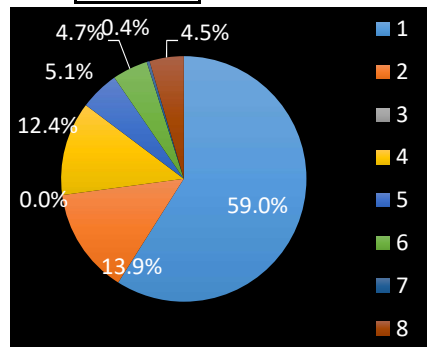
2020年度 19PJ 対前年度比 107.5%



2019年度 18PJ 対前年度比 105.4%



2018年度 17PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11PJ	25	21	29	58.8%
○ 2 風力発電	3PJ	9	6	6	16.2%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	2PJ	24	23	21	11.0%
5 バイオマス発電	1PJ	38	33	39	5.0%
6 太陽熱利用	1PJ	17	4	14	4.1%
7 地熱利用	0PJ	37	32	39	0.2%
8.バイオマス熱利用	1PJ	23	17	23	4.7%
合計(供給量)	19PJ	29			
再生可能エネルギー自給率			25.6%	再エネ自給率ランク 24	
食料自給率			32.4%	食料自給率ランク 27	
供給密度(TJ/km ²)			3.360	供給密度ランク 26	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				74PJ	
区域面積				5,676km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西宇和郡伊方町	337.3%	1	西宇和郡伊方町	19.1	☆1	南宇和郡愛南町	236.7%
☆2	上浮穴郡久万高原町	166.9%	2	伊予郡松前町	13.9	☆2	西予市	108.0%
3	西条市	59.4%	3	松山市	8.4	3	西宇和郡伊方町	99.2%
4	南宇和郡愛南町	54.3%	4	西条市	6.6	4	上浮穴郡久万高原町	99.2%
5	西予市	44.9%	5	今治市	5.1	5	北宇和郡松野町	92.7%
6	北宇和郡松野町	33.1%	6	新居浜市	4.9	6	北宇和郡鬼北町	87.0%
7	北宇和郡鬼北町	28.4%	7	南宇和郡愛南町	2.9	7	宇和島市	84.3%
8	宇和島市	27.0%	8	宇和島市	2.5	8	八幡浜市	69.3%
9	今治市	26.8%	9	四国中央市	2.2	9	西条市	56.9%
10	大洲市	24.3%	10	越前郡上島町	2.1	10	伊予郡松前町	49.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

高知県

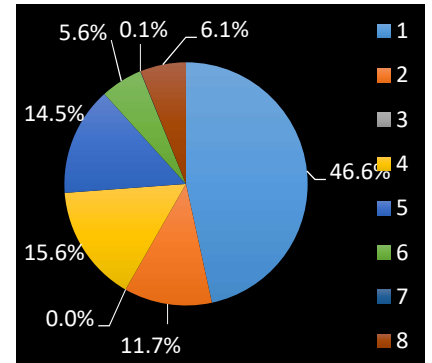
再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

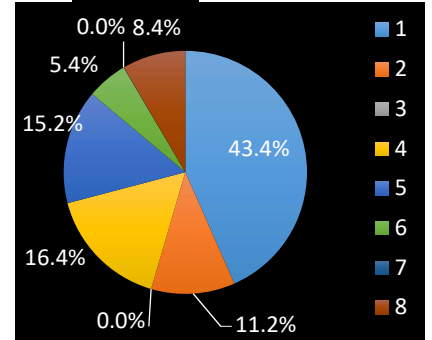
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6PJ	38	18	38	46.6%
○ 2 風力発電	2PJ	17	5	19	11.7%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	2PJ	23	11	26	15.6%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	19	2	24	14.5%
6 太陽熱利用	1PJ	19	2	23	5.6%
7 地熱利用	0PJ	45	40	45	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	24	5	29	6.1%
合計(供給量)	14PJ	34			
再生可能エネルギー自給率			36.0%	再エネ自給率ランク 7	
食料自給率			39.7%	食料自給率ランク 22	
供給密度(TJ/km ²)			1.953	供給密度ランク 41	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				39PJ	
区域面積				7,104km ²	

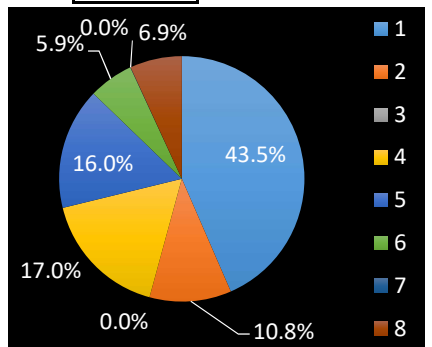
2020年度 14PJ 対前年度比 105.4%



2019年度 13PJ 対前年度比 103.8%



2018年度 13PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	幡多郡大月町	287.7%	1	高知市	11.7	☆1	幡多郡大月町	249.4%
☆2	長岡郡大豊町	270.5%	2	幡多郡大月町	10.4	☆2	幡多郡三原村	218.7%
☆3	吾川郡仁淀川町	254.6%	3	土佐市	4.9	☆3	高岡郡四万十町	155.0%
☆4	高岡郡禰原町	170.3%	4	南国市	4.1	☆4	安芸郡北川村	142.1%
☆5	高岡郡津野町	133.1%	5	高岡郡佐川町	3.8	☆5	幡多郡黒潮町	134.6%
☆6	香美市	107.2%	6	安芸郡芸西村	3.7	☆6	土佐郡土佐町	130.3%
7	高岡郡佐川町	75.9%	7	安芸郡田野町	3.1	☆7	安芸郡東洋町	114.3%
8	宿毛市	66.8%	8	高岡郡日高村	2.8	☆8	安芸郡安田町	109.6%
9	室戸市	65.7%	9	安芸郡奈半利町	2.8	☆9	高岡郡中土佐町	102.6%
10	幡多郡三原村	58.1%	10	香美市	2.7	10	宿毛市	96.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

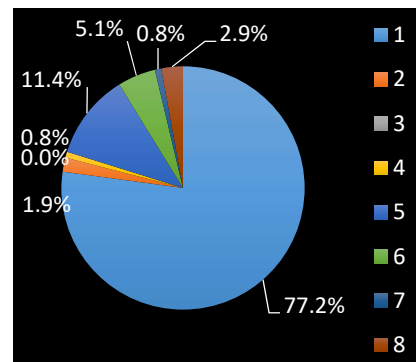
福岡県

再生可能エネルギー供給状況

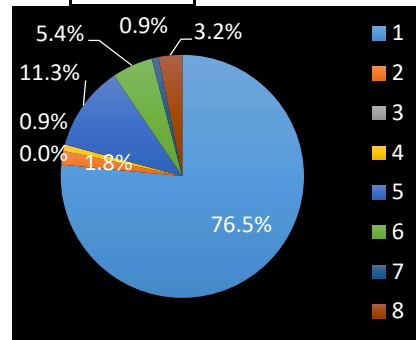
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

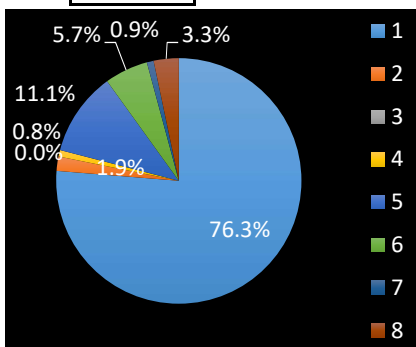
2020年度 **37PJ** 対前年度比 110.2%



2019年度 **34PJ** 対前年度比 100.5%



2018年度 **34PJ**



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	29PJ	8	29	7	77.2%
2 風力発電	1PJ	24	30	25	1.9%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	41	42	42	0.8%
○ 5 バイオマス発電	4PJ	10	24	7	11.4%
6 太陽熱利用	2PJ	2	18	6	5.1%
7 地熱利用	0PJ	20	27	19	0.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	20	37	16	2.9%
合計(供給量)	37PJ	11			
再生可能エネルギー自給率			14.2%	再エネ自給率ランク 36	
食料自給率			16.3%	食料自給率ランク 38	
供給密度(TJ/km ²)			7.249	供給密度ランク 8	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				262PJ	
区域面積				5,127km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田川郡川崎町	116.3%	1	春日市	48.8	☆1	築上郡上毛町	160.3%
☆2	田川郡赤村	115.1%	2	田川郡川崎町	22.4	☆2	朝倉郡筑前町	118.8%
☆3	築上郡上毛町	113.3%	3	田川郡糸田町	17.6	☆3	柳川市	118.3%
4	嘉麻市	92.4%	4	大牟田市	17.4	☆4	三潴郡大木町	110.7%
5	宮若市	84.0%	5	鞍手郡小竹町	16.0	☆5	田川郡赤村	110.2%
6	鞍手郡小竹町	78.9%	6	糟屋郡志免町	13.2	☆6	京都郡みやこ町	105.6%
7	田川郡大任町	77.9%	7	筑後市	12.9	☆7	築上郡築上町	102.7%
8	京都郡みやこ町	65.0%	8	北九州市	12.8	☆8	三井郡大刀洗町	100.3%
9	みやま市	58.8%	9	嘉穂郡桂川町	12.8	9	朝倉市	98.4%
10	朝倉郡筑前町	57.5%	10	糟屋郡粕屋町	12.4	10	うきは市	85.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

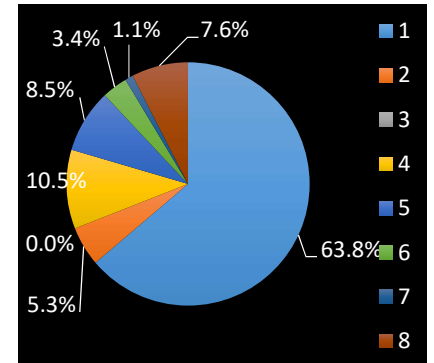
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

佐賀県

2020年度 14PJ 対前年度比 99.8%

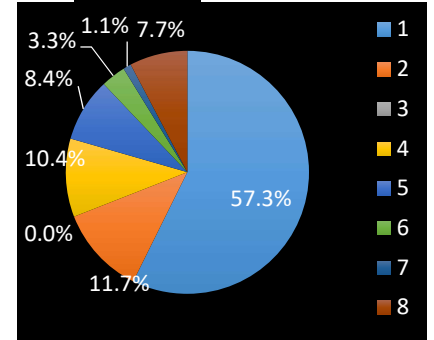


再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

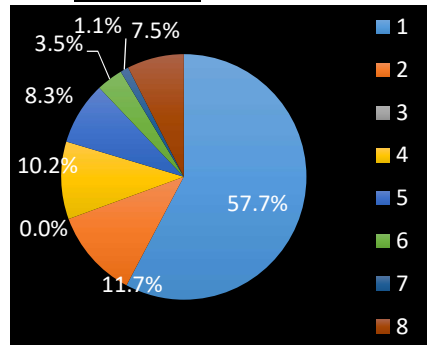
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 14PJ 対前年度比 101.1%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9PJ	33	13	15	63.8%
2 風力発電	1PJ	23	19	15	5.3%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	31	22	13	10.5%
5 バイオマス発電	1PJ	35	14	11	8.5%
6 太陽熱利用	0PJ	28	8	10	3.4%
7 地熱利用	0PJ	30	22	20	1.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	21	4	6	7.6%
合計(供給量)	14PJ	36			
再生可能エネルギー自給率			29.6%	再エネ自給率ランク 18	
食料自給率			79.2%	食料自給率ランク 7	
供給密度(TJ/km ²)			5.586	供給密度ランク 15	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				46PJ	
区域面積				2,441km ²	

2018年度 14PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	東松浦郡玄海町	68.4%	1	三養基郡上峰町	15.4	☆1	杵島郡白石町	387.3%
2	伊万里市	62.5%	2	杵島郡大町町	10.3	☆2	神崎市	164.9%
3	神崎市	48.6%	3	伊万里市	8.1	☆3	杵島郡江北町	164.2%
4	藤津郡太良町	48.1%	4	鳥栖市	8.0	☆4	藤津郡太良町	162.3%
5	多久市	47.7%	5	佐賀市	7.9	☆5	小城市	133.8%
6	嬉野市	40.2%	6	東松浦郡玄海町	6.6	☆6	東松浦郡玄海町	125.6%
7	三養基郡上峰町	39.9%	7	三養基郡みやき町	6.5	☆7	三養基郡みやき町	123.9%
8	杵島郡大町町	37.1%	8	神崎市	6.0	☆8	鹿島市	100.9%
9	唐津市	37.0%	9	三養基郡基山町	5.9	9	三養基郡上峰町	79.7%
10	武雄市	34.1%	10	唐津市	4.8	10	佐賀市	73.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

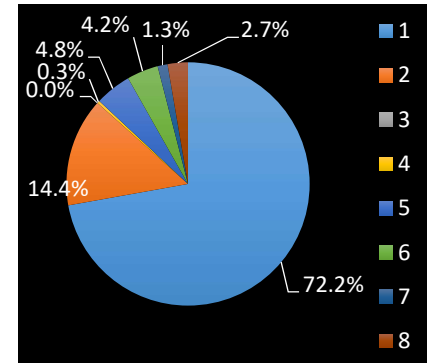
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長崎県

2020年度 16PJ 対前年度比 104.5%

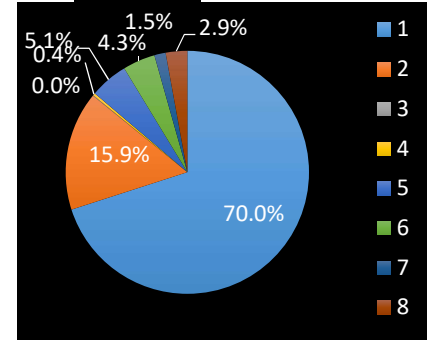


再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

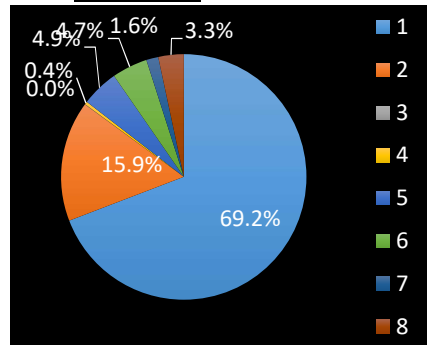
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 15PJ 対前年度比 107.0%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	24	23	20	72.2%
○ 2 風力発電	2PJ	13	15	5	14.4%
3 地熱発電	0PJ	10	9	9	0.0%
4 小水力発電	0PJ	44	43	45	0.3%
5 バイオマス発電	1PJ	40	41	36	4.8%
6 太陽熱利用	1PJ	23	11	13	4.2%
7 地熱利用	0PJ	26	24	23	1.3%
8 バイオマス熱利用	0PJ	37	31	31	2.7%
合計(供給量)	16PJ	32			
再生可能エネルギー自給率			20.1%	再エネ自給率ランク 29	
食料自給率			34.3%	食料自給率ランク 26	
供給密度(TJ/km ²)			3.873	供給密度ランク 22	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				79PJ	
区域面積				4,131km ²	

2018年度 14PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	平戸市	73.4%	1	西彼杵郡時津町	17.3	☆1	南松浦郡新上五島町	177.4%
2	西海市	52.5%	2	大村市	11.5	☆2	平戸市	172.1%
3	五島市	47.6%	3	北松浦郡佐々町	7.4	☆3	雲仙市	115.3%
4	東彼杵郡東彼杵町	46.7%	4	諫早市	6.9	4	北松浦郡小値賀町	81.0%
5	北松浦郡佐々町	36.8%	5	長崎市	5.8	5	南島原市	74.1%
6	南島原市	35.9%	6	佐世保市	5.8	6	東彼杵郡東彼杵町	73.4%
7	雲仙市	32.9%	7	島原市	5.8	7	松浦市	73.3%
8	松浦市	31.4%	8	平戸市	5.6	8	壱岐市	71.5%
9	大村市	28.4%	9	西彼杵郡長与町	5.1	9	五島市	63.1%
10	諫早市	27.8%	10	南島原市	4.8	10	西海市	59.1%

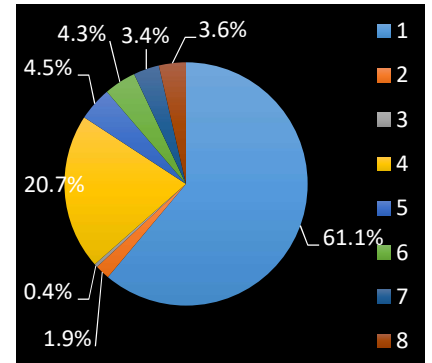
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

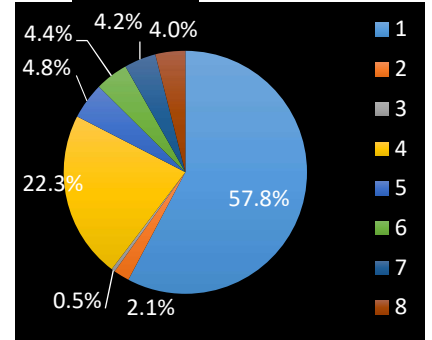
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

熊本県

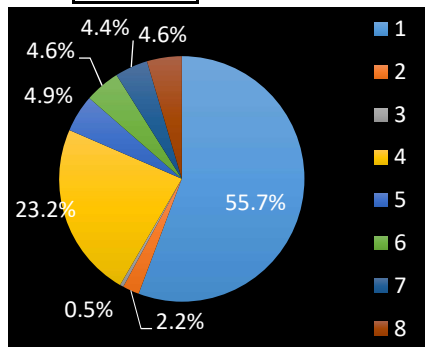
2020年度 33PJ 対前年度比 107.4%



2019年度 31PJ 対前年度比 104.2%



2018年度 30PJ



再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	20PJ	17	12	19	61.1%
2 風力発電	1PJ	26	24	28	1.9%
3 地熱発電	0PJ	7	7	6	0.4%
◎ 4 小水力発電	7PJ	5	5	5	20.7%
5 バイオマス発電	1PJ	31	27	30	4.5%
6 太陽熱利用	1PJ	5	3	8	4.3%
7 地熱利用	1PJ	7	6	5	3.4%
8.バイオマス熱利用	1PJ	16	16	21	3.6%
合計(供給量)	33PJ	17			
再生可能エネルギー自給率			34.1%	再エネ自給率ランク	11
食料自給率			50.7%	食料自給率ランク	17
供給密度(TJ/km ²)			4.653	供給密度ランク	19
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				97PJ	
区域面積				7,135km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	球磨郡水上村	913.6%	1	荒尾市	29.7	☆1	阿蘇郡産山村	228.4%
☆2	球磨郡五木村	913.0%	2	菊池郡大津町	21.1	☆2	上益城郡山都町	185.2%
☆3	阿蘇郡小国町	274.0%	3	玉名郡長洲町	17.3	☆3	阿蘇市	175.9%
☆4	球磨郡相良村	265.4%	4	合志市	15.9	☆4	阿蘇郡南阿蘇村	174.7%
☆5	上益城郡山都町	199.9%	5	上益城郡益城町	15.6	☆5	上益城郡嘉島町	163.1%
☆6	阿蘇郡西原村	159.5%	6	菊池郡菊陽町	9.4	☆6	八代郡氷川町	140.8%
☆7	玉名郡和水町	139.0%	7	阿蘇郡小国町	9.1	☆7	球磨郡あさぎり町	140.2%
☆8	球磨郡錦町	122.9%	8	菊池市	8.7	☆8	玉名郡和水町	140.0%
☆9	菊池郡大津町	117.1%	9	熊本市	8.4	☆9	球磨郡湯前町	137.8%
☆10	阿蘇郡産山村	110.8%	10	球磨郡錦町	8.0	☆10	球磨郡多良木町	137.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

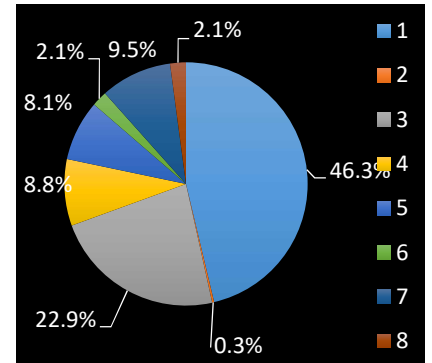
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大分県

2020年度 36PJ 対前年度比 111.1%



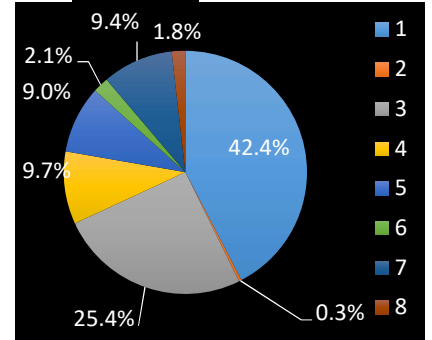
再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

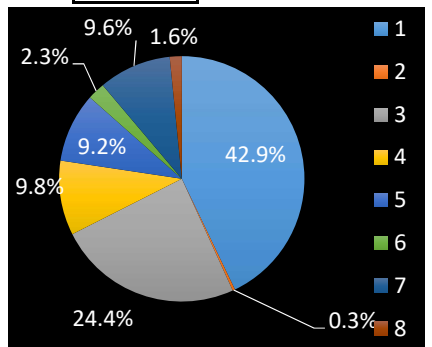
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	17PJ	21	9	21	46.3%
2 風力発電	0PJ	33	32	35	0.3%
◎ 3 地熱発電	8PJ	1	1	1	22.9%
4 小水力発電	3PJ	15	14	14	8.8%
5 バイオマス発電	3PJ	15	4	12	8.1%
6 太陽熱利用	1PJ	20	5	17	2.1%
7 地熱利用	3PJ	1	1	1	9.5%
8.バイオマス熱利用	1PJ	29	19	28	2.1%
合計(供給量)	36PJ	12			
再生可能エネルギー自給率			50.0%	再エネ自給率ランク 2	
食料自給率			35.7%	食料自給率ランク 24	
供給密度(TJ/km ²)			5.750	供給密度ランク 13	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				73PJ	
区域面積				6,341km ²	

2019年度 33PJ 対前年度比 101.8%



2018年度 32PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	玖珠郡九重町	1186.4%	1	玖珠郡九重町	34.4	☆1	竹田市	200.5%
☆2	速見郡日出町	129.4%	2	速見郡日出町	25.8	☆2	玖珠郡九重町	130.7%
☆3	豊後大野市	118.9%	3	別府市	23.3	☆3	宇佐市	127.4%
4	由布市	80.4%	4	大分市	12.1	☆4	豊後大野市	117.8%
5	杵築市	75.6%	5	由布市	6.9	5	国東市	89.6%
6	玖珠郡玖珠町	63.1%	6	宇佐市	4.6	6	玖珠郡玖珠町	86.1%
7	宇佐市	60.9%	7	豊後大野市	4.4	7	豊後高田市	86.0%
8	日田市	54.8%	8	杵築市	4.4	8	杵築市	75.3%
9	国東市	50.7%	9	日田市	3.6	9	由布市	58.8%
10	豊後高田市	47.8%	10	豊後高田市	3.1	10	佐伯市	52.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

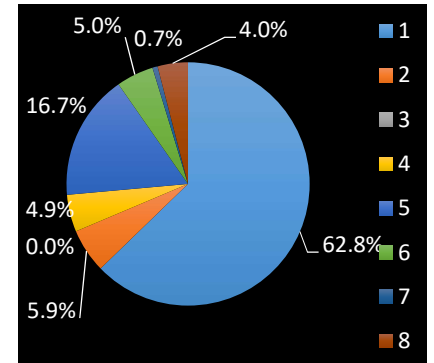
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮崎県

2020年度 **30PJ** 対前年度比 118.9%

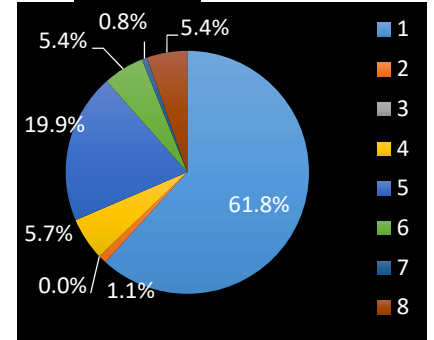


再生可能エネルギー供給状況

2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

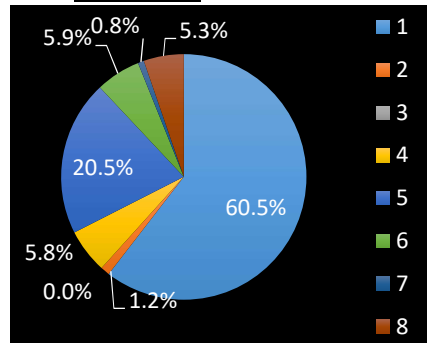
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 **25PJ** 対前年度比 102.2%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	19PJ	19	4	25	62.8%
2 風力発電	2PJ	16	16	20	5.9%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	30	25	34	4.9%
○ 5 バイオマス発電	5PJ	8	1	10	16.7%
6 太陽熱利用	1PJ	3	1	9	5.0%
7 地熱利用	0PJ	27	21	30	0.7%
8.バイオマス熱利用	1PJ	17	7	24	4.0%
合計(供給量)	30PJ	18			
再生可能エネルギー自給率			46.1%	再エネ自給率ランク 4	
食料自給率			49.7%	食料自給率ランク 18	
供給密度(TJ/km ²)			3.822	供給密度ランク 23	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				64PJ	
区域面積				7,735km ²	

2018年度 **24PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	児湯郡西米良村	506.4%	1	児湯郡川南町	17.7	☆1	えびの市	162.7%
☆2	西臼杵郡五ヶ瀬町	248.3%	2	児湯郡高鍋町	12.0	☆2	東臼杵郡美郷町	142.4%
☆3	串間市	177.5%	3	日向市	11.4	☆3	児湯郡川南町	138.1%
☆4	児湯郡都農町	170.2%	4	東諸県郡国富町	11.3	☆4	串間市	123.6%
☆5	児湯郡川南町	163.5%	5	宮崎市	9.0	☆5	西都市	108.5%
☆6	東諸県郡国富町	159.1%	6	児湯郡都農町	8.6	☆6	児湯郡木城町	100.3%
7	日向市	96.0%	7	児湯郡新富町	8.1	7	西臼杵郡五ヶ瀬町	95.6%
8	西臼杵郡日之影町	92.2%	8	串間市	6.5	8	西諸県郡高原町	89.3%
9	日南市	86.6%	9	都城市	5.9	9	児湯郡新富町	87.8%
10	えびの市	73.1%	10	日南市	4.9	10	児湯郡都農町	84.3%

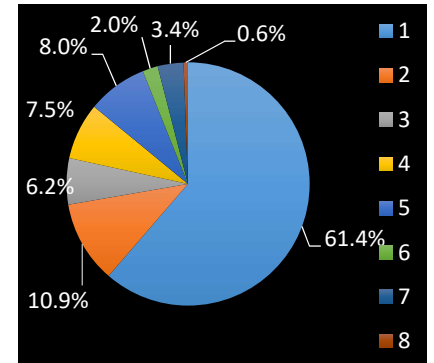
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鹿児島県

2020年度 46PJ 対前年度比 111.7%

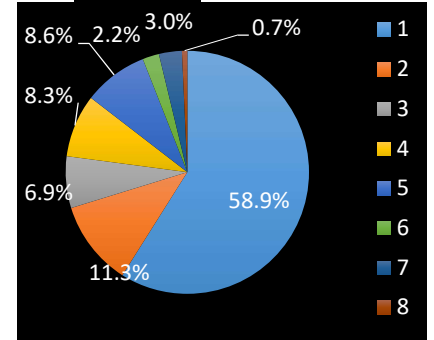


再生可能エネルギー供給状況

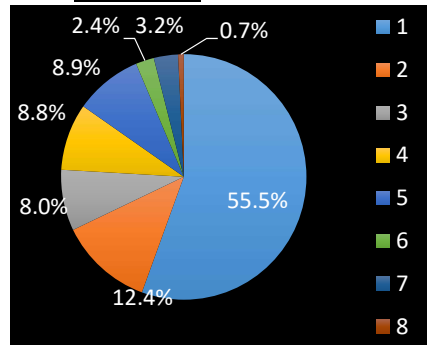
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 41PJ 対前年度比 105.6%



2018年度 39PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率 率ランク	供給密度ラ ンク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	28PJ	10	1	17	61.4%
○ 2 風力発電	5PJ	4	4	7	10.9%
3 地熱発電	3PJ	4	4	3	6.2%
4 小水力発電	3PJ	13	16	20	7.5%
5 バイオマス発電	4PJ	11	5	14	8.0%
6 太陽熱利用	1PJ	11	9	26	2.0%
7 地熱利用	2PJ	5	4	4	3.4%
8.バイオマス熱利用	0PJ	42	39	43	0.6%
合計(供給量)	46PJ	5			
再生可能エネルギー自給率			48.3%	再エネ自給率 ランク 3	
食料自給率			69.3%	食料自給率ラ ンク 10	
供給密度(TJ/km ²)			4.969	供給密度ラン ク 17	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				94PJ	
区域面積				9,187km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	肝属郡南大隅町	229.7%	1	指宿市	17.2	☆1	熊毛郡中種子町	708.2%
☆2	姶良郡湧水町	222.0%	2	曾於郡大崎町	16.3	☆2	大島郡天城町	619.0%
☆3	出水郡長島町	187.7%	3	霧島市	11.1	☆3	大島郡伊仙町	572.0%
☆4	曾於郡大崎町	169.6%	4	枕崎市	11.0	☆4	大島郡喜界町	499.3%
☆5	南九州市	128.0%	5	出水郡長島町	10.1	☆5	大島郡和泊町	491.9%
☆6	南さつま市	124.0%	6	鹿児島市	9.3	☆6	大島郡知名町	478.6%
☆7	肝属郡肝付町	117.6%	7	南九州市	9.0	☆7	出水郡長島町	375.2%
8	霧島市	95.6%	8	姶良郡湧水町	8.7	☆8	大島郡徳之島町	302.1%
9	指宿市	89.9%	9	南さつま市	7.9	☆9	熊毛郡南種子町	291.9%
10	薩摩郡さつま町	82.3%	10	鹿屋市	7.3	☆10	熊毛郡南種子町	291.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

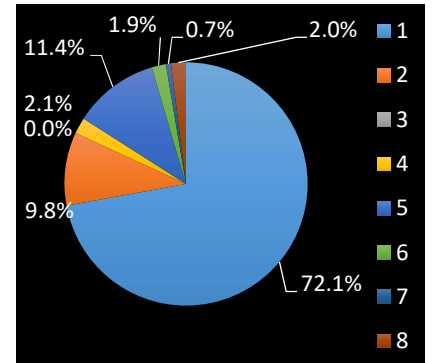
沖縄県

再生可能エネルギー供給状況

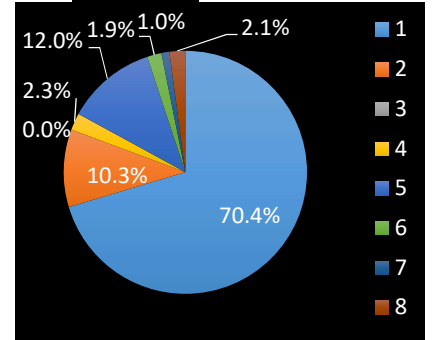
2021年3月末の設備状況をもとに2020年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

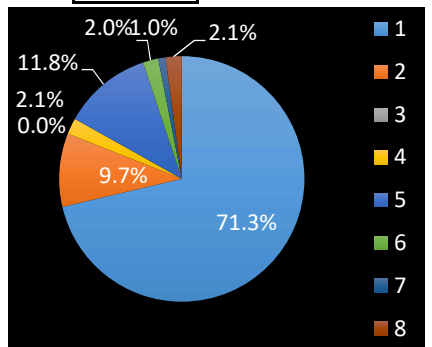
2020年度 6PJ 対前年度比 105.5%



2019年度 6PJ 対前年度比 93.9%



2018年度 6PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	40	38	30	72.1%
2 風力発電	1PJ	27	23	18	9.8%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	43	41	41	2.1%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	42	45	19	11.4%
6 太陽熱利用	0PJ	42	40	35	1.9%
7 地熱利用	0PJ	39	35	33	0.7%
8.バイオマス熱利用	0PJ	44	43	39	2.0%
合計(供給量)	6PJ	47			
再生可能エネルギー自給率			7.2%	再エネ自給率ランク	43
食料自給率			31.2%	食料自給率ランク	29
供給密度(TJ/km ²)			2.666	供給密度ランク	37
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				85PJ	
区域面積				2,281km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	国頭郡東村	122.1%	1	島尻郡南風原町	46.1	☆1	島尻郡南大東村	4118.3%
2	国頭郡大宜味村	69.4%	2	沖縄市	11.5	☆2	島尻郡北大東村	2354.0%
3	国頭郡伊江村	59.0%	3	宜野湾市	11.2	☆3	宮古郡多良間村	1243.4%
4	国頭郡今帰仁村	47.1%	4	うるま市	8.9	☆4	島尻郡伊是名村	885.8%
5	国頭郡国頭村	34.4%	5	糸満市	8.5	☆5	八重山郡竹富町	380.4%
6	国頭郡宜野座村	30.5%	6	浦添市	7.9	☆6	島尻郡久米島町	380.0%
7	宮古郡多良間村	30.4%	7	豊見城市	7.4	☆7	島尻郡伊平屋村	314.0%
8	八重山郡与那国町	27.9%	8	那覇市	6.6	☆8	宮古島市	312.5%
9	国頭郡本部町	23.2%	9	島尻郡与那原町	6.4	☆9	八重山郡与那国町	145.4%
10	島尻郡南風原町	22.7%	10	中頭郡北谷町	5.8	☆10	島尻郡粟国村	141.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。